

JAERI-Tech
98-032



高温工学試験研究炉 (HTTR) 臨界試験の予備解析結果
—モンテカルロコードMVPに基づく解析—

1998 年 8 月

野尻直喜・中野正明・安藤弘栄・藤本 望
竹内光男・藤崎伸吾・山下清信

日本原子力研究所
Japan Atomic Energy Research Institute

本レポートは、日本原子力研究所が不定期に公刊している研究報告書です。

入手の間合わせは、日本原子力研究所研究情報部研究情報課（〒319-1195 茨城県那珂郡東海村）あて、お申し越してください。なお、このほかに財団法人原子力弘済会資料センター（〒319-1195 茨城県那珂郡東海村日本原子力研究所内）で複写による実費頒布をおこなっております。

This report is issued irregularly.

Inquiries about availability of the reports should be addressed to Research Information Division, Department of Intellectual Resources, Japan Atomic Energy Research Institute, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken 319-1195, Japan.

© Japan Atomic Energy Research Institute, 1998

編集兼発行 日本原子力研究所

高温工学試験研究炉 (HTTR) 臨界試験の予備解析結果
—モンテカルロコードMVPに基づく解析—

日本原子力研究所大洗研究所高温工学試験研究炉開発部
野尻 直喜*・中野 正明・安藤 弘栄・藤本 望
竹内 光男・藤崎 伸吾・山下 清信

(1998年7月7日受理)

高温工学試験研究炉 (High Temperature Engineering Test Reactor : HTTR) の臨界試験の事前評価として、連続エネルギー法に基づくモンテカルロ計算コードMVPにより核特性解析を行った。拡散理論による炉心計算では直接モデル化が困難であった、燃料コンパクト、燃料棒、燃料棒挿入孔、反応度調整材等の燃料体内の非均質構造、制御棒及び制御棒挿入孔、後備停止系ほう素ペレット落下孔、炉心構成要素間の間隙等を詳細にモデル化した。解析により、初回臨界は16カラム前後燃料を装荷した状態で到達する見込みであること、その際第1、2、3リング制御棒を全引き抜きし中心制御棒だけを操作することで臨界調節が可能であることを確認した。また、臨界時の制御棒位置、過剰反応度、炉停止余裕等を求めた。これらの解析結果を臨界試験の計画策定に用いた。本報告書は、これらの解析結果についてまとめたものである。

Preliminary Analyses for HTTR's Start-up Physics Tests by Monte Carlo Code MVP

Naoki NOJIRI*, Masaaki NAKANO, Hiroei ANDO, Nozomu FUJIMOTO,
Mitsuo TAKEUCHI, Shingo FUJISAKI and Kiyonobu YAMASHITA

Department of HTTR Project
Oarai Research Establishment
Japan Atomic Energy Research Institute
Oarai-machi, Higashiibaraki-gun, Ibaraki-ken

(Received July 7, 1998)

Analyses of start-up physics tests for High Temperature Engineering Test Reactor (HTTR) have been carried out by Monte Carlo code MVP based on continuous energy method. Heterogeneous core structures were modified precisely, such as the fuel compacts, fuel rods, coolant channels, burnable poisons, control rods, control rod insertion holes, reserved shutdown pellet insertion holes, gaps between graphite blocks, etc. Such precise modification of the core structures was difficult with diffusion calculation. From the analytical results, the followings were confirmed; The first criticality will be achieved around 16 fuel columns loaded. The reactivity at the first criticality can be controlled by only one control rod located at the center of the core with other fifteen control rods fully withdrawn. The excess reactivity, reactor shutdown margin and control rod criticality positions have been evaluated. These results were used for planning of the start-up physics tests. This report presents analyses of start-up physics tests for HTTR by MVP code.

Keywords : HTTR, Start-up Physics Test, Monte Carlo Method, MVP,
Effective Multiplication Factor, Criticality, Control Rod, Excess Reactivity,
HTGR, Double Heterogeneity

* On loan to Science and Technology Agency

目 次

1. 緒 言	1
2. 炉心構造及び燃料装荷順序	2
2.1 炉心構造	2
2.2 燃料装荷順序	2
3. 解析条件	12
3.1 解析コード	12
3.2 解析モデル	12
3.3 解析項目	12
4. 解析結果	19
5. 結 言	29
謝 辞	30
参考文献	30
付 録 1 燃料コンパクト内の非均質性の反応度効果について	31
付 録 2 サンプルインプット	32

Contents

1. Introduction	1
2. Core Structures and Fuel Loading Order	2
2.1 Core Structures	2
2.2 Fuel Loading Order	2
3. Analytical Condition	12
3.1 Analytical Code	12
3.2 Analytical Model	12
3.3 Evaluated Parameters	12
4. Analytical Results	19
5. Conclusion	29
Acknowledgments	30
References	30
Appendix 1 Effect to Reactivity due to Heterogeneity in Fuel Compact	31
Appendix 2 Sample Input	32

This is a blank page.

1. 緒言

高温工学試験研究炉(High Temperature Engineering Test Reactor : HTTR)は出力 30MW、原子炉出口冷却材温度が定格運転時に 850°C、高温試験運転に 950°Cの黒鉛減速ヘリウム冷却型高温ガス炉である。

核特性解析を行う上で HTTR の炉心には、

- ① 被覆粒子燃料を用いており二重非均質性を有していること、
- ② 炉心はブロック状の燃料体を積層した構造であり、軸方向に非均質性があること、
- ③ 反応度調整材(可燃性毒物)を、水平方向には非対称な位置に、軸方向には非均質に燃料体へ装荷していること、
- ④ 制御棒挿入孔、後備停止系のほう素ペレット落下孔、模擬燃料体の模擬冷却材流路、燃料棒周りの冷却材流路等の空孔があり、中性子ストリーミングが大きいと考えられること、
- ⑤ 将来型高温ガス炉として提案されている環状炉心の特性を取得するため、燃料装荷は炉心の外周部から行い、全炉心構成の過程で環状炉心を構成すること、

等の特徴がある。②、③、④について、拡散計算に基づく炉心計算では幾何形状を直接モデル化することが困難であり、均質化等の近似が必要であるため、モデル化に伴う誤差が大きくなると考える。また、⑤については、燃料体に接し反射体の役割をする黒鉛ブロックの割合が大きくなり、燃料体内の中性子スペクトルが燃料体のみを無限に配列した状態に比べ柔らかくなる。従って、燃料体の群定数を設定する際にその周りの条件を考慮しなければ誤差が大きくなる。さらに、中性子の拡散近似は物質の境界近傍では誤差が大きくなるため、環状炉心のような燃料領域の幅が薄い体系に対して、その適用性について注意を払う必要がある。そこで、臨界試験の予備解析として、これらの炉心の幾何形状を解析モデルに直接取り込むことによりモデル化に伴う誤差を小さくし、また、炉心計算に先立って群定数を作成する必要がある連続エネルギー法に基づくモンテカルロ法核計算コード MVP¹⁾を用いた解析を行った。なお、①に対しては MVP のモデル化には取り入れていないため、実効増倍率の計算結果を補正することでその効果を考慮した。

本報告書は、MVP を用いて行った、装荷燃料カラム数による実効増倍率の変化、過剰反応度、臨界状態での制御棒位置、炉停止余裕についての解析をまとめたものである。

2. 炉心構造及び燃料装荷順序

2.1 炉心構造

HTTR では、原子炉出口冷却材温度が高温試験運転時には 950℃と高いことから、中性子の減速材として耐熱性が高い黒鉛を、また、冷却材として高温でも化学的に不活性で安定なヘリウムを使用している。HTTR の主要諸元を Table 2-1 に、水平断面及び垂直断面を Fig.2-1 及び Fig.2-2 に示す。炉心は、六角柱状の黒鉛ブロックである燃料体、制御棒案内ブロック、可動反射体ブロックの炉心構成要素から構成し、これらの炉心構成要素を円柱状に積み上げたものである。ブロックを積み上げた軸方向の 1 列をカラムと称し、炉心は合計 61 カラムからなり、燃料領域とその外側を囲む可動反射体領域に分けられる。燃料領域は、燃料体を含む燃料カラム 30 カラムと制御棒案内ブロックからなる制御棒案内カラム 7 カラムからなる。側部可動反射体領域は、可動反射体カラム 12 カラム、照射カラム 3 カラム及び制御棒案内カラム 9 カラムからなる。

燃料カラムは、2体の黒鉛ブロックからなる上部可動反射体、5体の燃料体及び2体の黒鉛ブロックからなる下部可動反射体からなる。燃料体は、高さ 580mm、面間距離 360mm の黒鉛ブロックに燃料棒を装荷し、燃料棒の周辺に冷却材の流路を確保したピン・イン・ブロック型燃料体である。燃料体の構造を Table 2-2、Fig.2-3 に示す。黒鉛ブロックに装荷する燃料棒の本数は、炉心中心部 12 燃料カラムに装荷する燃料体については 33 本、炉心の外周部 18 燃料カラムに装荷する燃料体については 31 本である。各燃料棒は、黒鉛スリーブ及びこれに封入する 14 個の燃料コンパクトからなる。燃料コンパクトは、3 から 10wt%の低濃縮ウランの燃料カーネルを熱分解炭素及び SiC 層で被覆した被覆燃料粒子を黒鉛粉末と混合し焼き固めたものである。燃料体に 3 個あるダウエルピンのうち 2 か所の下に直径が 14mm の反応度調整材及び黒鉛ディスクを装荷している。炉心内のウラン濃縮度配分及び反応度調整材の諸元を Table 2-3 及び Table 2-4 に示す。燃料最高温度の低減のため、炉心の上部及び側部でウラン濃縮度が高い燃料を装荷している。

制御棒案内カラムには、制御棒挿入孔が 2 孔、後備停止系の炭化ほう素ペレット落下孔が 1 孔ある。制御棒の挿入孔は上部が直径 123mm、下部が 140mm である。炭化ほう素ペレット落下孔の直径は 123mm である。また、制御棒にはそれぞれ Fig.2-4 に示す名称がある。中心制御棒、第 1 リング制御棒、第 2 リング制御棒、第 3 リング制御棒を、それぞれ、C、R1、R2、R3 と略する。

照射カラムには、直径が 123mm の照射物挿入孔を設けている。

2.2 燃料装荷順序

燃料装荷順序は、将来の実用規模の高温ガス炉の核特性を取得することを念頭において定めた。実用規模の高温ガス炉では、一次系配管の破断により減圧事故が生じた場合炉心内の残留熱の除去を促進するため、炉心中央部に燃料を含まない黒鉛領域を設けた環状炉心が提案されている^{2),3),4)}。この考え方にに基づき炉心外周部から燃料を装荷し、環状炉心の核特性を把握することとした。Fig.2-2の燃料領域に示した番号が燃料カラムの装荷順序である。外周の18燃料

カラムを装荷した炉心及び24燃料カラムを装荷した炉心で環状炉心の核特性を取得する計画である。

燃料装荷前は、燃料体の代わりに模擬燃料体を装荷している。燃料装荷は、1カラム分ごと、模擬燃料体を燃料体と交換するようにして進める。模擬燃料体は、六角柱状で模擬冷却孔あるいは模擬制御棒挿入孔を有するIG-11製の黒鉛ブロックである。模擬冷却孔の直径は41mmまたは60mmであり、3孔が模擬燃料体1体に設けられている。模擬制御棒挿入孔の直径は123mmであり、1体の模擬燃料体に3あるいは2孔設けられている。

Table 2-1 Specifications of the HTTR

Thermal power	30 MW
Outlet coolant temperature	850 / 950 °C
Inlet coolant temperature	395 °C
Primary coolant pressure	4 MPa
Core structure	Graphite
Equivalent core diameter	2.3 m
Effective core height	2.9 m
Average power density	2.5 W/cm ³
Fuel	UO ₂
Uranium enrichment	3 to 10 wt%
Type of fuel	Pin-in-block
Burnup period	660 days (equivalent full power days)
Coolant material	Helium gas
Flow direction in core	Downward
Reflector thickness	
Top	1.16 m
Side	0.99 m
Bottom	1.16 m
Number of fuel assemblies	150
Number of fuel columns	30
Number of pairs of control rods	
In core	7
In reflector	9

Table 2-2 Specifications of fuel assembly

Number of fuel rods in a fuel block	33 / 31	
Graphite block		
Material	IG-110	
Widths across flats	36 cm	
Height	58 cm	
Density	1.77 g/cm ³	
Fuel rod		
Outer diameter	3.4 cm	
Length	57.7 cm	
Number of fuel compacts	14 /rod	
Graphite sleeve		
Material	IG-110	
Fuel compact		
Outer diameter	2.6 cm	
Inner diameter	1.0 cm	
Length	3.9 cm	
Packing fraction of CFPs	30 vol%	
Density of matrix	1.7 g/cm ³	
Coated fuel particle(CFP)		
Diameter	0.929 mm	
Fuel kernel		
Material	UO ₂	
Diameter	0.597 mm	
Enrichment	3-10 wt%	
Density	10.4 g/cm ³	
Coatings	Thickness	Density
Buffer	0.060 mm	1.10 g/cm ³
Inner PyC	0.030 mm	1.85 g/cm ³
SiC	0.025 mm	3.20 g/cm ³
Outer PyC	0.045 mm	1.85 g/cm ³

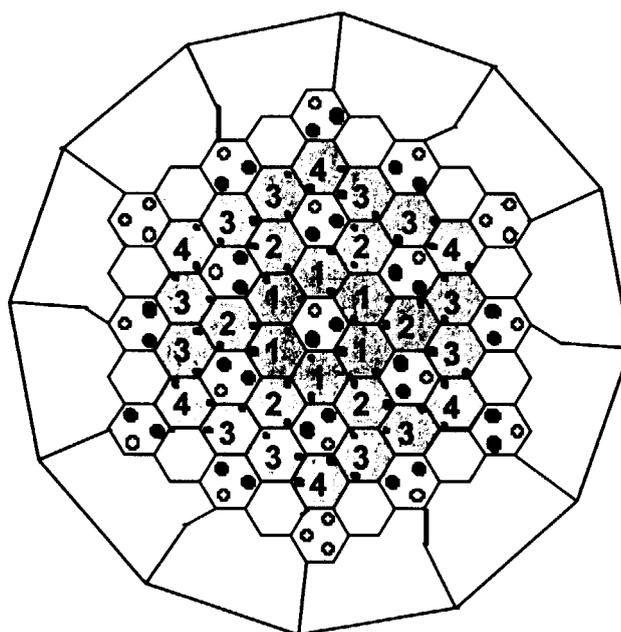
Table 2-3 Fuel assembly in the core

Layer number from top block	Layer number from top fuel block	Items	Fuel zone number			
			1	2	3	4
3	1	Uranium enrichment (wt%)	6.68	7.82	9.36	9.81
		Number of fuel rod of graphite block	33	33	31	31
		Type of burnable poisons	H-I	H-I	H-I	H-I
4	2	Uranium enrichment (wt%)	5.16	6.25	7.19	7.82
		Number of fuel rod of graphite block	33	33	31	31
		Type of burnable poisons	H-II	H-II	H-II	H-II
5	3	Uranium enrichment (wt%)	4.29	5.16	5.91	6.25
		Number of fuel rod of graphite block	33	33	31	31
		Type of burnable poisons	H-II	H-II	H-II	H-II
6	4	Uranium enrichment (wt%)	3.30	3.86	4.29	4.79
		Number of fuel rod of graphite block	33	33	31	31
		Type of burnable poisons	H-I	H-I	H-I	H-I
7	5	Uranium enrichment (wt%)	3.30	3.86	4.29	4.79
		Number of fuel rod of graphite block	33	33	31	31
		Type of burnable poisons	H-I	H-I	H-I	H-I

Note:

Fuel zone number is shown in the below figure.

Type of burnable poisons is shown in Table 2-3.



 N : Fuel zone number
 - : Burnable poision

Table 2-4 Burnable poisons (BP) and graphite disks

Burnable poison pellet

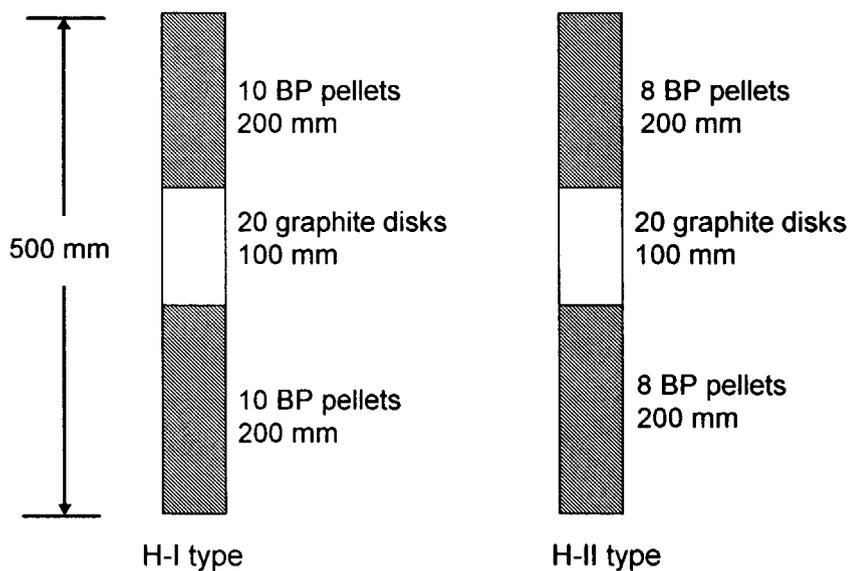
Material	B ₄ C-C composite	
Boron arrangements	shown in Table 2-3	
Type	H-I	H-II
Density (g/cm ³)	1.79	1.82
Natural boron concentration (wt%)	2.22	2.74
Diameter (mm)	13.9	13.9
¹⁰ B abundance ratio (wt%)	18.7	18.7

Graphite disk

Material	Graphite	
Diameter (mm)	14.0	
Density (g/cm ³)	1.77	
Impurity (ppm)*	0.37	* natural boron equivalent

Burnable poison rod

Number of BP rods in a fuel assembly 2 (shown in Table 2-3)
 Height 500 mm
 Configuration of BP pellets and graphite disks in a BP rod are shown in the following figures.



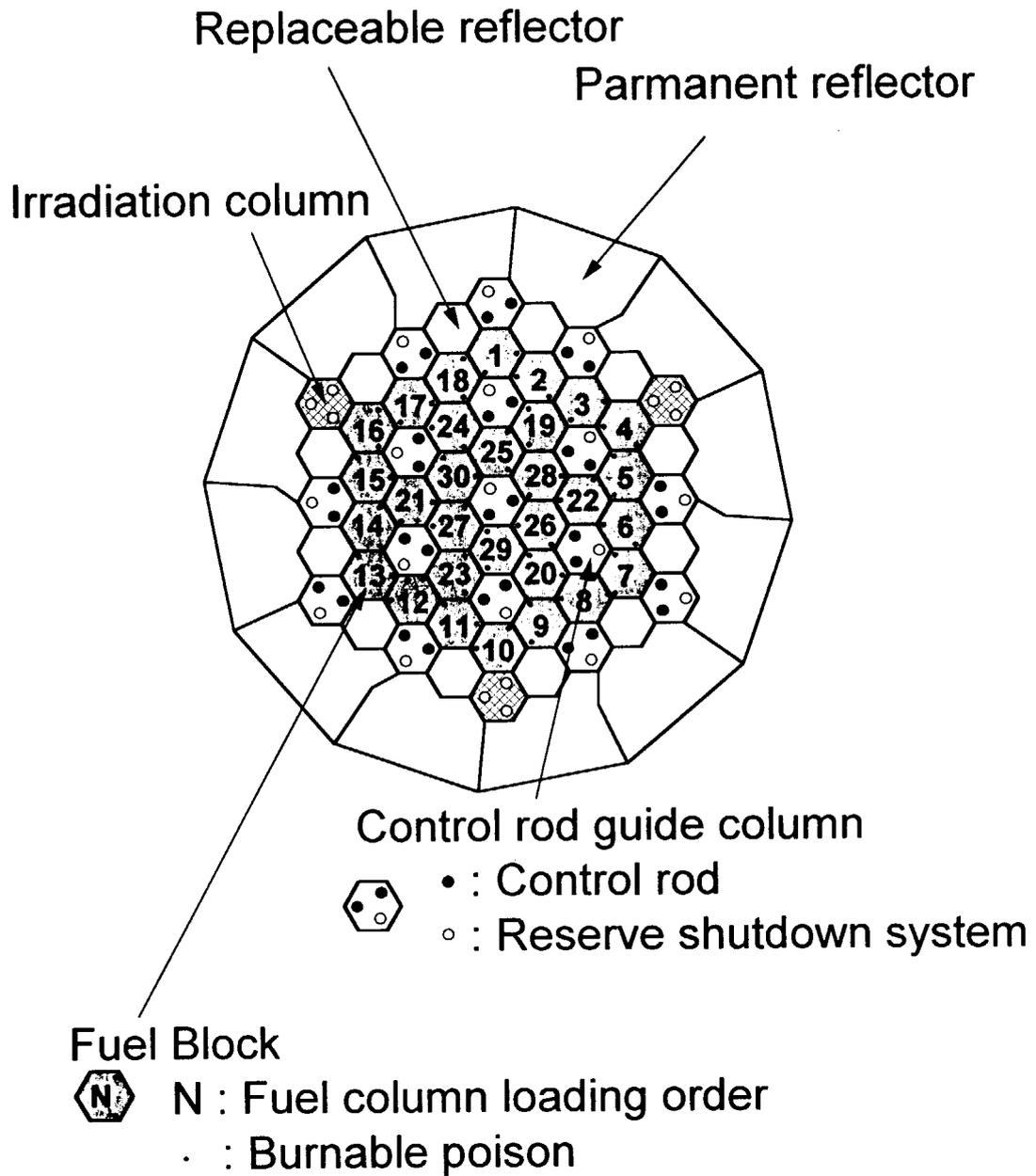


Fig.2-1 Horizontal view of the core and fuel loading order

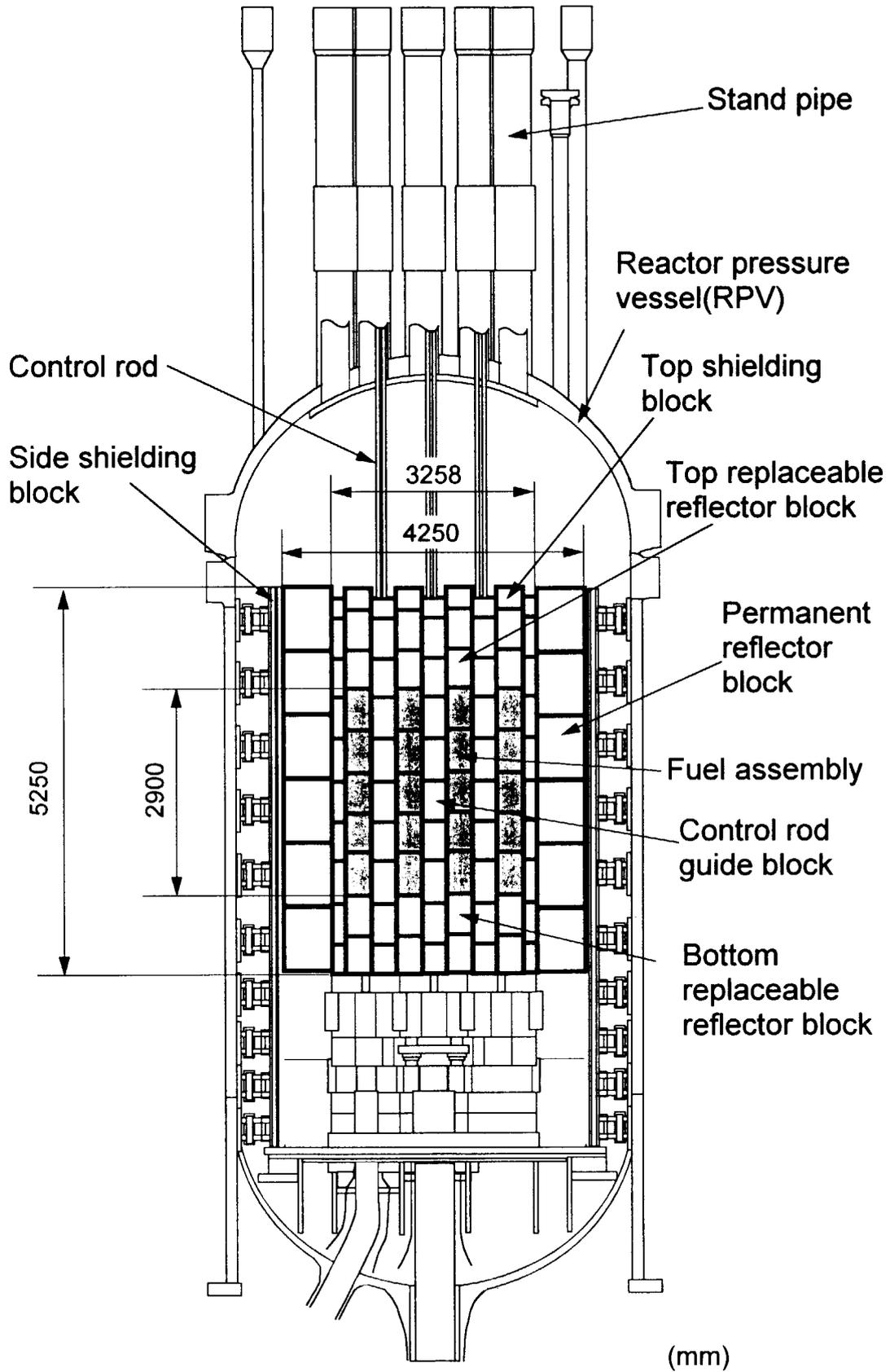


Fig.2-2 Vertical cutaway view of HTR

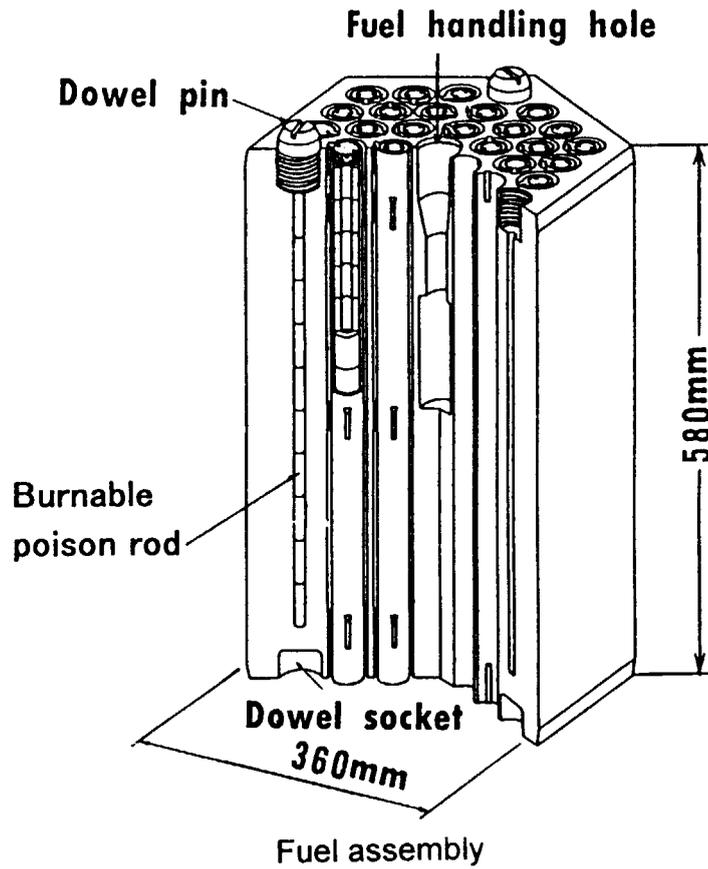
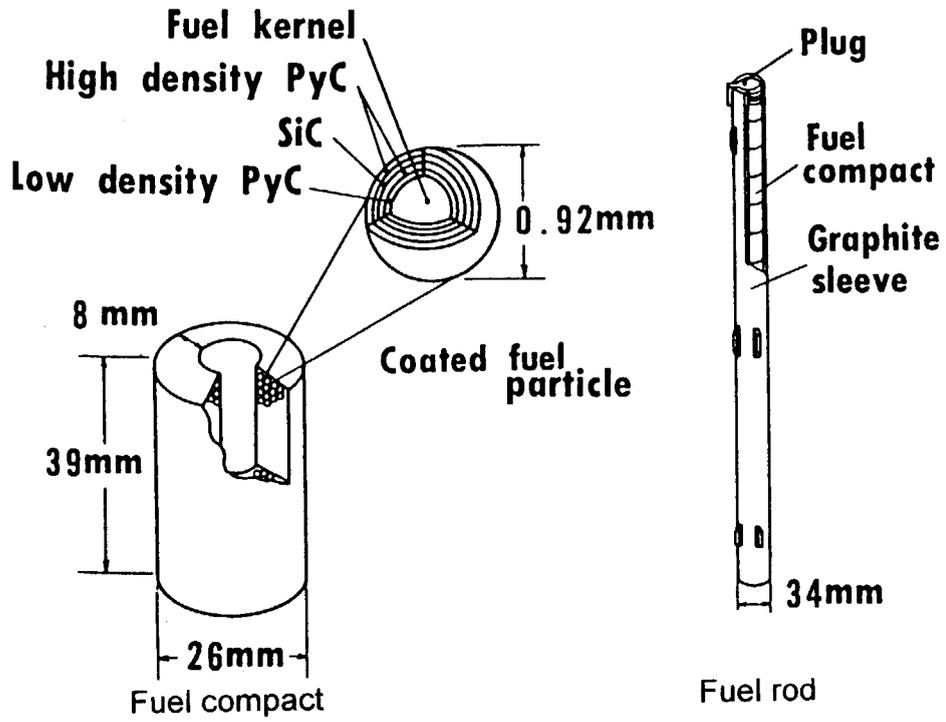


Fig.2-3 Configuration of the fuel assembly

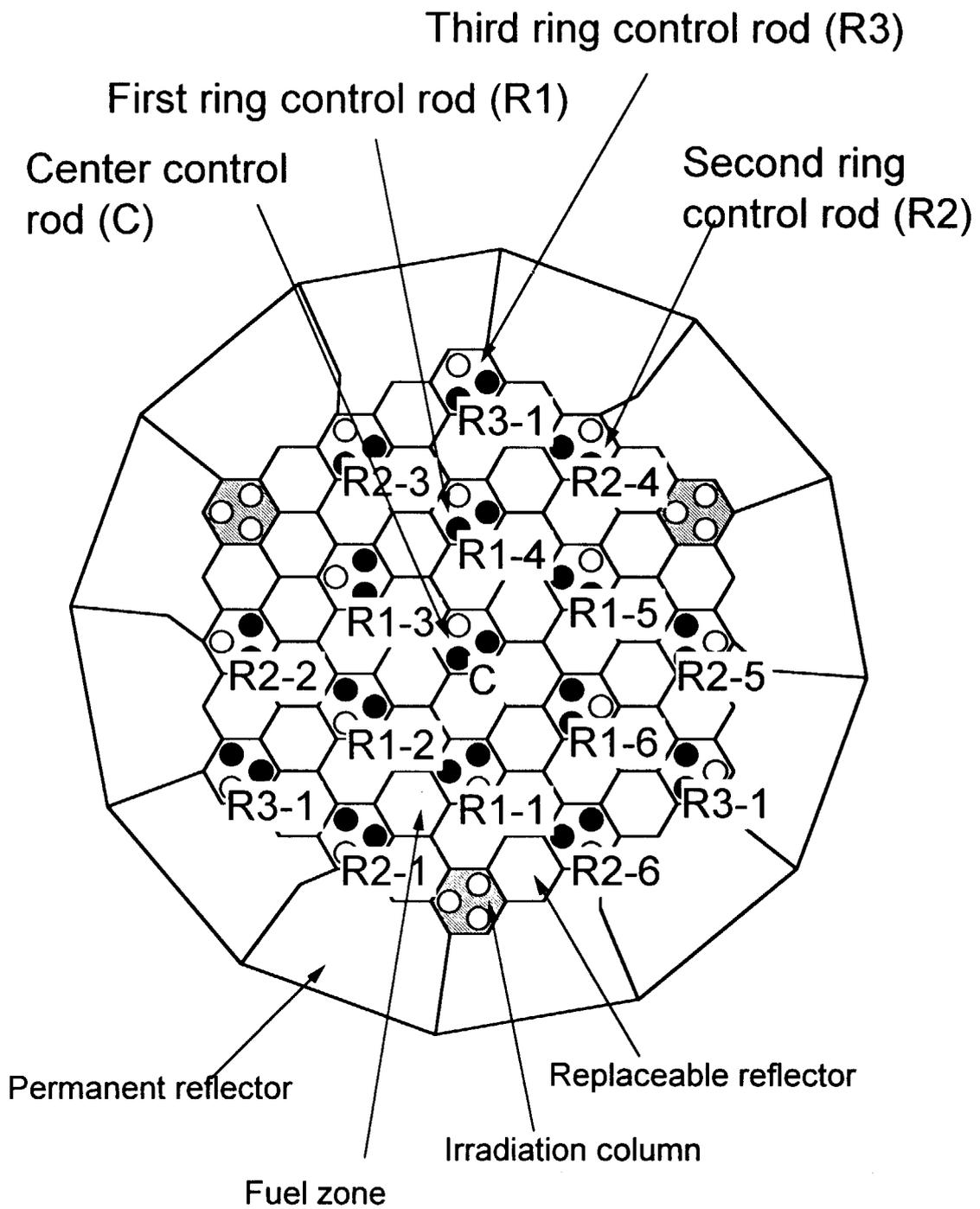


Fig.2-4 The name of control rod

3. 解析条件

3.1 解析コード

解析コードは、連続エネルギー法に基づく汎用中性子・光子輸送計算モンテカルロコード MVP¹⁾を用いた。また、核データライブラリは JENDL-3.2⁵⁾に基づくものを使用した。

解析では、バッチ当たりのヒストリー数を 10,000、バッチ数を 40 とし、最初の 5 バッチについては実効増倍率を求める際に考慮していない。

3.2 解析モデル

30 燃料カラムの燃料を装荷した状態の解析モデルの水平断面及び垂直断面を Fig.3-1 及び Fig.3-2 に示す。Fig.3-1 を拡大した図を Fig.3-3 に示す。これらの図に示すように、燃料コンパクト、燃料棒、反応度調整材と黒鉛ディスク、上部可動反射体及び下部可動反射体の冷却孔、制御棒挿入孔および制御棒挿入孔の下部が太くなっていること、後備停止系の炭化ほう素ペレット落下孔、照射物挿入孔等をモデル化した。

18 燃料カラム及び 24 燃料カラムを炉心に装荷した環状炉心のモデルの水平断面図を Fig.3-4 及び Fig.3-5 に示す。環状の燃料領域の内側にある制御棒案内ブロック以外のブロックは、模擬燃料体である。模擬燃料体には模擬冷却孔又は模擬制御棒挿入孔があり、これらの形状をモデル化した。

燃料、燃料体の黒鉛ブロック、反応度調整材、制御棒案内ブロック、可動反射体ブロック、模擬燃料体の形状寸法及び密度の実測値から計算に必要な各領域の原子数密度を算出した。

燃料コンパクト内には約 13,000 個の被覆燃料粒子を充填しておりこれを 1 つ 1 つモデル化することは困難であることから、被覆燃料粒子内の各物質の重量を保存するようにして燃料コンパクト内で均質化することとした。被覆燃料粒子を均質化したことによる反応度効果は、SRAC コードシステム⁶⁾の衝突確率法により評価した。これについては付録 I に示す。

3.3 解析項目

燃料装荷は炉心外周部から行う計画であり、その過程で馬蹄形ないしは環状の炉心を構成する。また、1 章で述べたとおり HTTR の炉心は非均質性が大きい。これらの点から、臨界近接等の臨界試験を対象としてこれまで設計に用いてきた拡散理論に基づく解析を行うと、実効増倍率の計算誤差が大きくなるを考える。このことから、モンテカルロ法による解析が適している項目は、実効増倍率の解析及びその結果から過剰反応度や臨界時の制御棒位置を評価することである。中性子束分布等の解析はモンテカルロ法は適していないのでここでは解析対象にしなかった。これらの点を踏まえて、解析項目は次の通りとした

(1) 装荷燃料カラム数による実効増倍率の変化

各燃料カラム数を装荷した炉心に対して実効増倍率を計算し、初回臨界となる燃料カラム数および全炉心構成での過剰反応度を求める。

(2) 初回臨界での C 制御棒臨界位置

初回臨界では、C 制御棒を除いた全制御棒を全抜きにして、C 制御棒のみにより臨界を達成、維持する。このときの臨界となる制御棒位置を求める。

(3) R3 制御棒を除く全制御棒を同一位置に挿入した場合の臨界位置

初回臨界後は、燃料を所定のカラム数ずつ追加し、過剰反応度を燃料追加法により測定するために炉心を臨界にする。この際に R3 制御棒を全引き抜きにし、それ以外の制御棒の位置を揃えて臨界にする。この時の制御棒位置を求める。

(4) 環状炉心、全炉心構成での炉停止余裕

初回臨界後、18、24 燃料カラムを装荷した炉心は環状炉心となる。この環状炉心については制御棒落下法で、また、全炉心構成について制御棒落下法と制御棒校正曲線から炉停止余裕を測定する。本解析はその事前評価である。

(5) 環状炉心での R2 制御棒、R3 制御棒のみによる臨界位置

将来型の高温ガス炉の環状炉心では、事故時に挿入された制御棒の過度の昇温を防ぐため、燃料領域や中央の反射体領域に制御棒を挿入しないことが考えられている。そこで、HTTR の臨界試験においても、18、24 燃料カラムを装荷した環状炉心に対して、C、R1 を使用せず全引き抜きにした状態で、燃料領域外側にある R2、R3 制御棒のみを用いて臨界にする試験を行う予定である。本解析はこの場合の臨界となる制御棒位置を求めるものである。

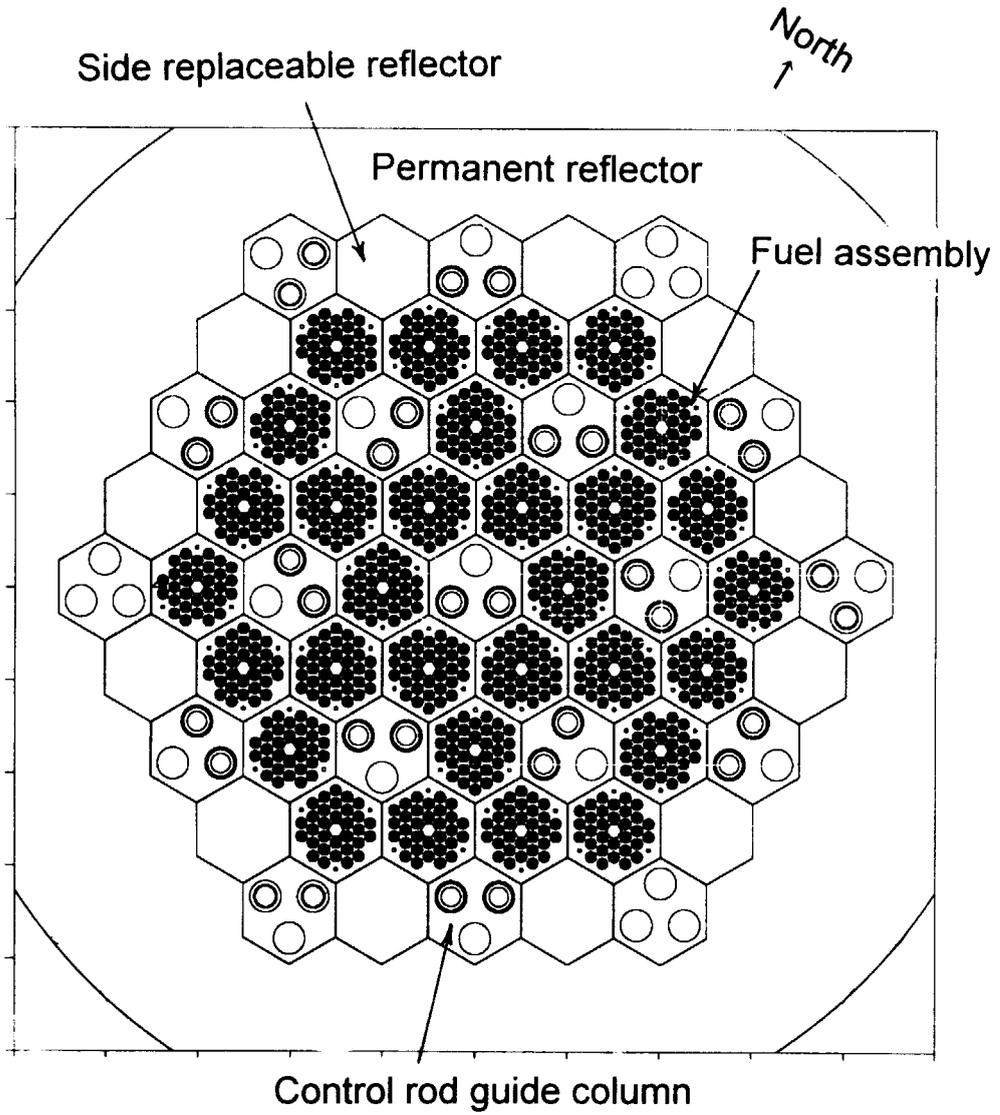


Fig.3-1 Horizontal cross-section of analytical model (30 fuel columns loaded).

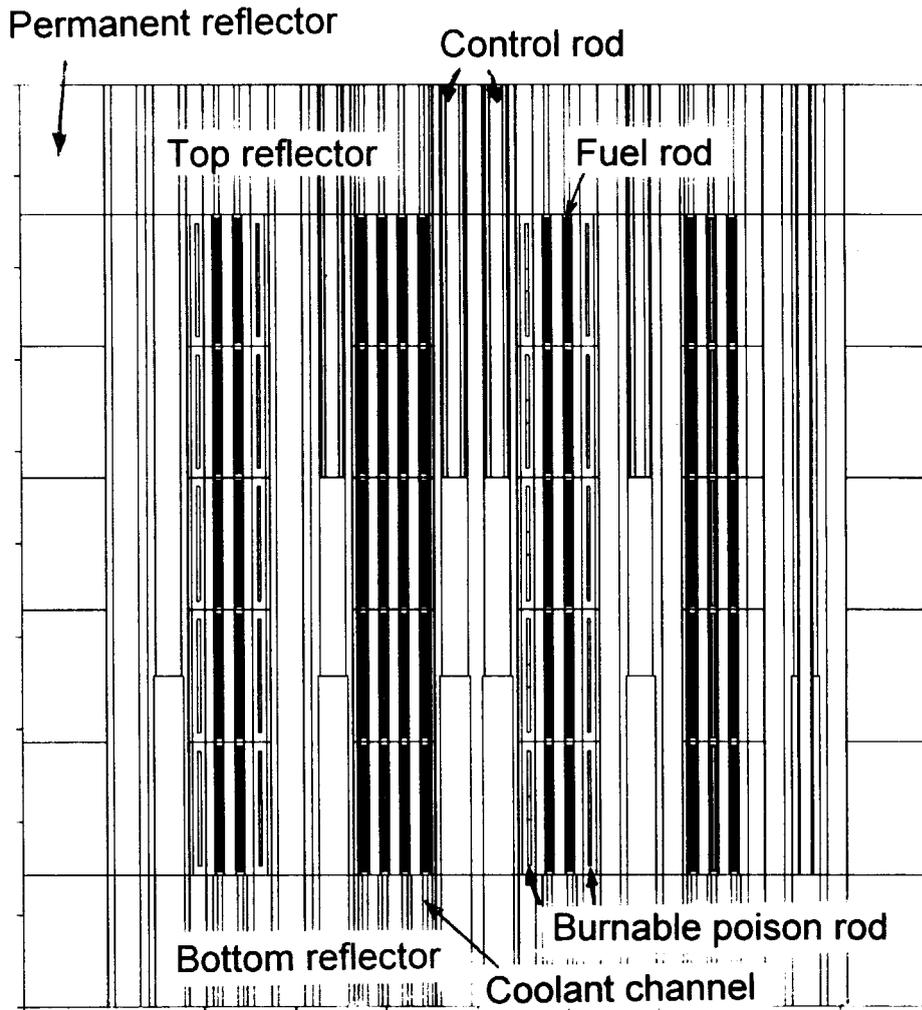


Fig.3-2 Vertical cross-section of analytical model (30 fuel columns loaded).

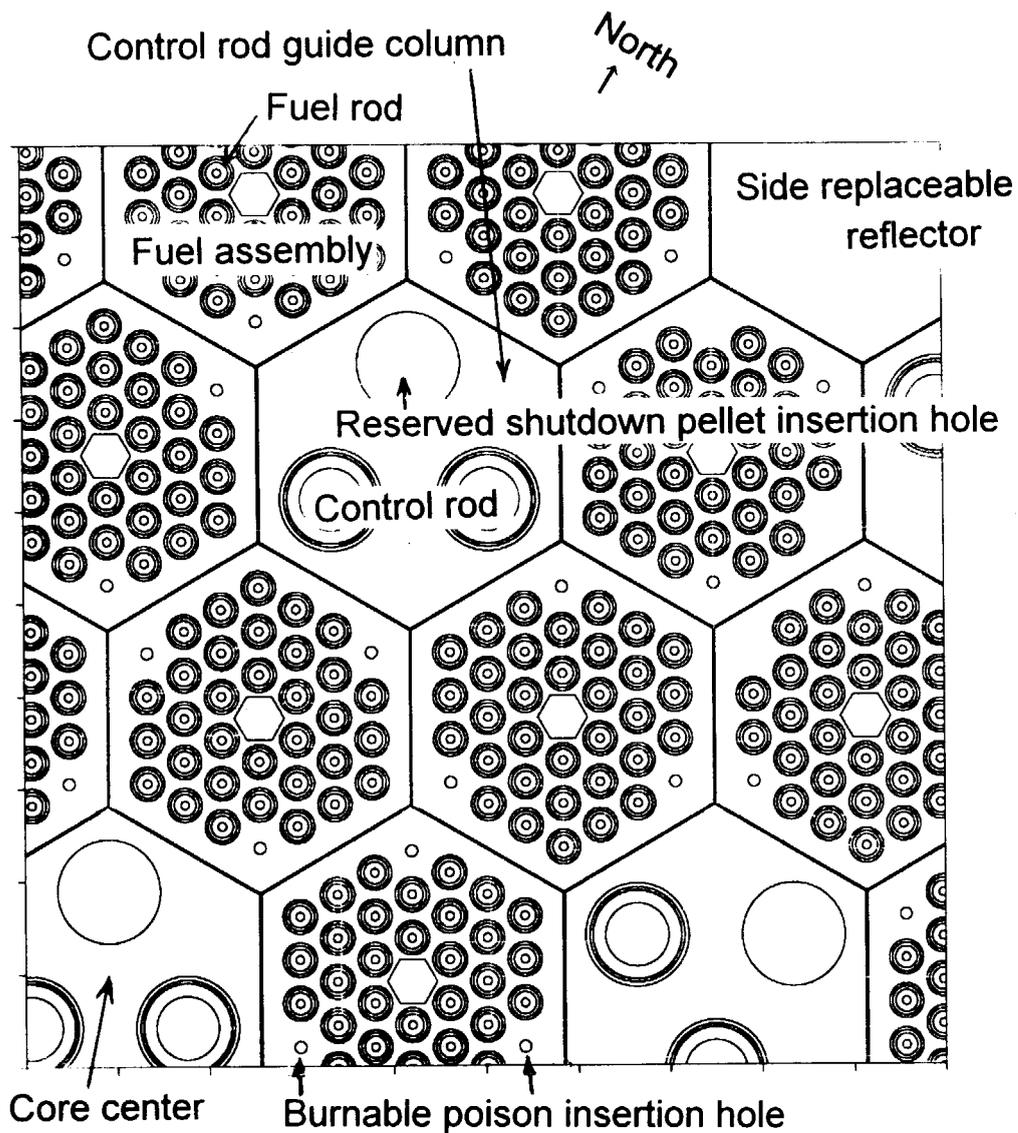


Fig.3-3 Magnification of analytical model.

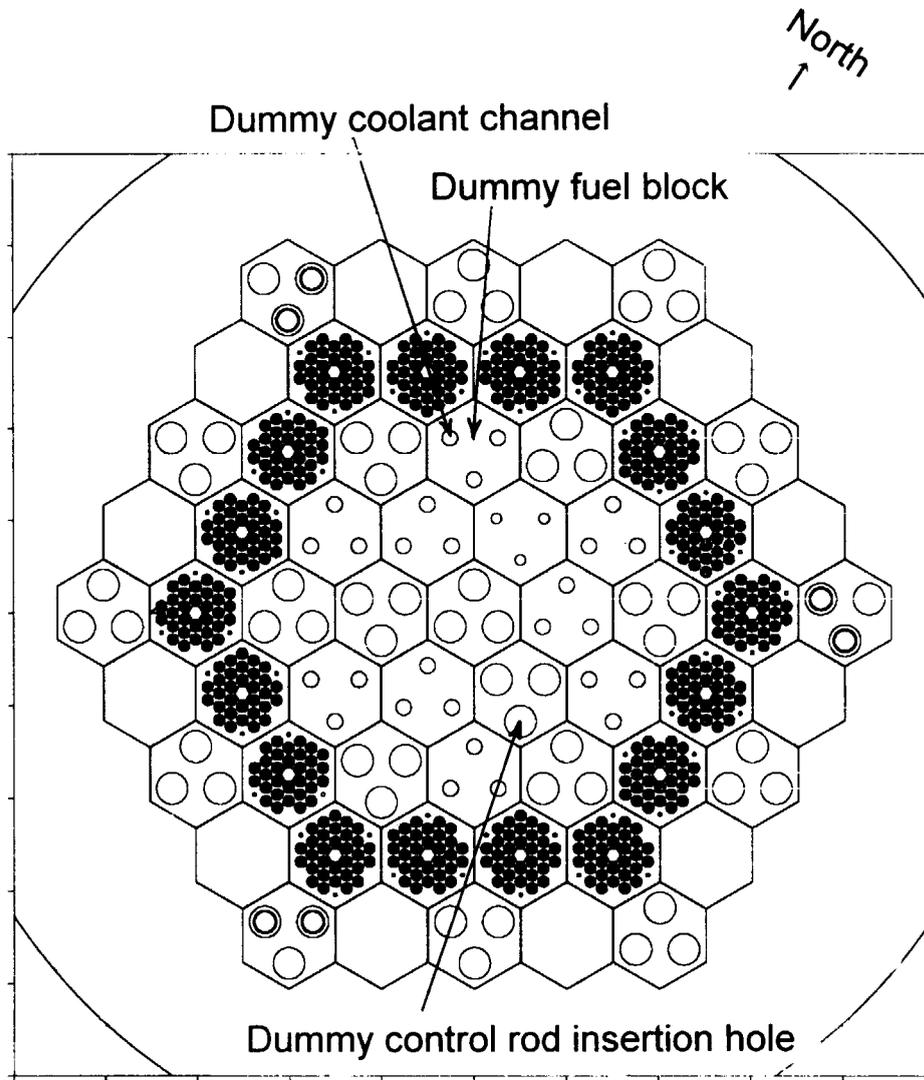


Fig.3-4 Horizontal cross-section of analytical model (18 fuel columns loaded).

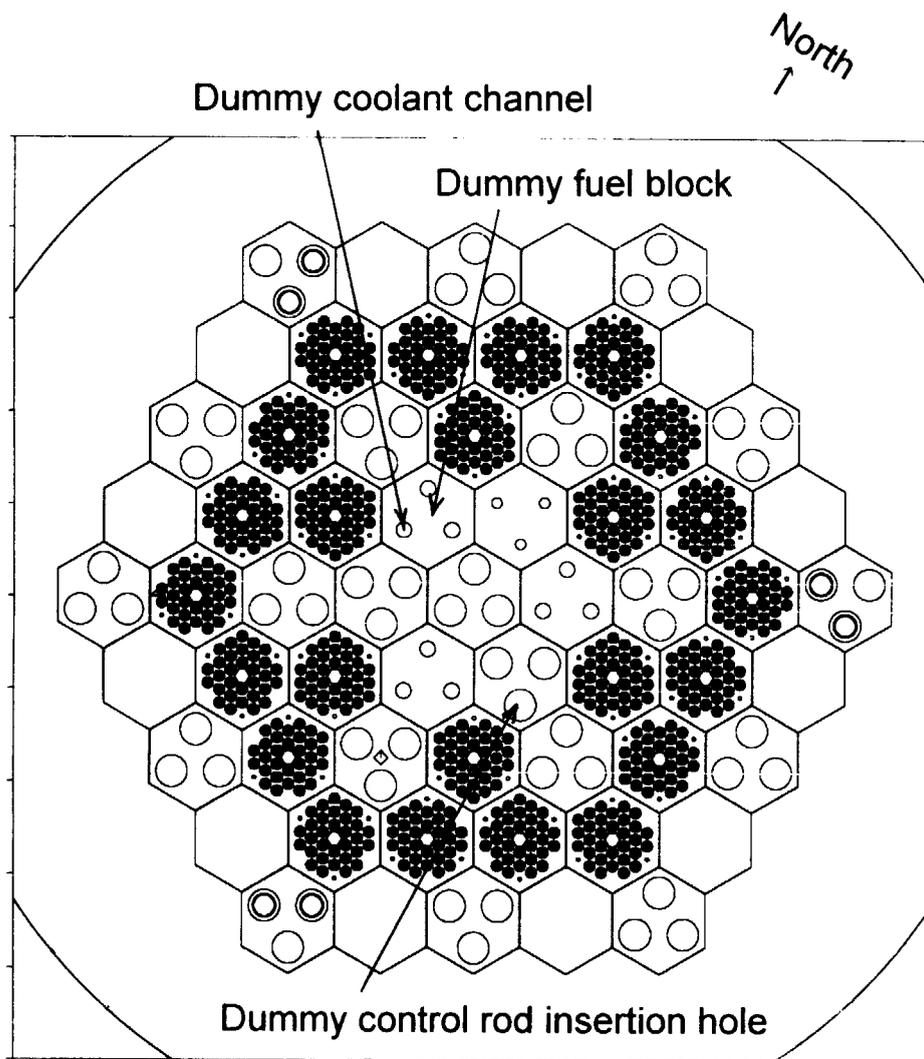


Fig.3-5 Horizontal cross-section of analytical model (24 fuel columns loaded).

4. 解析結果

(1) 実効増倍率の計算結果の補正

MVP の解析モデルでは被覆燃料粒子を直接モデル化しておらず、コンパクト内を均質化した領域としてモデル化している。この二重非均質性の効果として、計算により得られた実効増倍率に $+1.2\% \Delta k/k$ を補正している。この補正については付録1に示す。

(2) 実効増倍率の計算結果の誤差

MVPを使用した VHTRC の実験解析において、JENDL-3.2 を核データライブラリに用い BP を装荷した炉心の場合には、実効増倍率の計算値は実験値と比べて、 $0.66\% \Delta k/k$ 大きくなっている⁷⁾。このことから、系統的な誤差として $-0.66\% \Delta k/k$ を考慮する。また、以下に示す計算結果では、モンテカルロ法による標準偏差 σ は初回臨界付近で実効増倍率の 0.12% 、全炉心構成で実効増倍率の 0.10% であり、これを反応度に換算するとそれぞれ、 $0.12\% \Delta k/k$ 、 $0.09\% \Delta k/k$ となる。その3倍を見込んで、 $\pm 0.36\% \Delta k/k$ を統計的な誤差として考慮する。

実効増倍率の解析誤差として、これら系統的な誤差と統計的な誤差を合計して、反応度換算で $\pm 1.0\% \Delta k/k$ を以下の解析では考慮する。また、2つの実効増倍率の計算値から反応度を求める際には、系統的な誤差は相殺されると考えて無視し、統計的な誤差のみを考慮することとする。つまり、制御棒の反応度値等を求める際には、誤差として、

$$\sqrt{0.36^2 + 0.36^2} = 0.5\% \Delta k/k$$

を考慮する。

(3) 装荷燃料カラム数による実効増倍率の変化

燃料を Fig.2-1 に示した装荷順序に従い装荷した場合の実効増倍率の計算結果を Table 4-1、Fig.4-1 に示す。同表で、 $keff$ は実効増倍率の計算結果、 $keff^*$ は二重非均質性の効果として $+1.2\% \Delta k/k$ を補正した実効増倍率である。

これらの結果から、燃料をカラム単位で装荷する場合には、最確値として、16燃料カラムを装荷した時点で初回臨界となることがわかる。また、実効増倍率の誤差として $\pm 1\% \Delta k/k$ を考慮すると、Fig.4-1により14から17燃料カラムを装荷した時点で初回臨界となる。しかし、(2)に示したとおり、VHTRCの実験解析では、実効増倍率の計算値は実験値に比べ大きい値になっていることから、14カラムで臨界になることはないとして、15から17カラムで初回臨界を達成するものとする。

また、全炉心構成状態での過剰反応度 ρ_{ex} を、

$$\rho_{ex} = \frac{keff^* - 1}{keff^*}$$

により求めると、次のようになる。

燃料カラム数	過剰反応度 ρ_{ex} ($\% \Delta k/k$)
30	13.4 ± 1.0

(4) 初回臨界でのC制御棒臨界位置

上記により16燃料カラムを装荷した状態で最小臨界と見込んでいることから、この炉心について臨界近接状態を模擬し、R1、R2、R3制御棒を全引き抜き、C制御棒のみで臨界にする場合の解析結果をTable 4-2、Fig.4-2に示す。

初回臨界状態でのC制御棒位置は、Fig.4-2から、最確値として2460mmとなる。±1%Δk/kの解析誤差を考慮すると、実効増倍率が大きい側になった場合には最も深く挿入され1620mm、小さくなった場合には16カラムでは臨界に達せず、17カラムで初回臨界となる。

また、C制御棒の反応度値は、 $2.4 \pm 0.5\% \Delta k/k$ であり、14燃料カラムを装荷した炉心から17燃料カラム炉心まで1カラムずつ燃料を装荷した場合の反応度増分は、それぞれ 0.5 ± 0.5 、 0.6 ± 0.5 、 $1.0 \pm 0.5\% \Delta k/k$ である。すなわち、初回臨界近傍で、1カラムずつ燃料を追加する場合にその反応度増分は、C制御棒の反応度値より小さくなっている。従って、C制御棒以外の制御棒を全引き抜きC制御棒のみを全挿入した状態では未臨界を確保することができ、C制御棒を引き抜きつつ臨界を達成することが可能である。

(5) R3制御棒を除く全制御棒を同一位置に挿入した場合の臨界位置

18、21、24、27、30燃料カラムを装荷した状態で、R3制御棒を全引き抜き、C、R1、R2制御棒を同一位置に挿入した場合の実効増倍率を計算し、臨界位置を求めた。Table 4-3、Fig.4-3に解析結果を示す。

臨界位置の最確値及び実効増倍率の解析誤差として±1.0%Δk/kを考慮した場合の臨界位置の下限値、上限値は次の通りとなる。

燃料カラム数	臨界制御棒位置 (mm)		
	下限値	最確値	上限値
18	2740	2810	2880
21	2310	2420	2520
24	2000	2080	2160
27	1740	1820	1900
30	1640	1720	1800

注： 下限値：実効増倍率にプラス側の誤差1.0%Δk/kを考慮した場合

上限値：実効増倍率にマイナス側の誤差1.0%Δk/kを考慮した場合

(6) 環状炉心、全炉心構成での炉停止余裕

18、24、30燃料カラムを装荷した炉心について、全制御棒を全挿入した状態の実効増倍率の計算結果をTable 4-4に示す。同表から、

$$\rho_s = \frac{1 - keff^*}{keff^*}$$

ここで、 $keff^*$ は二重非均質効果を補正済みの実効増倍率

により炉停止余裕 ρ_s を求めると、次のようになる。なお、制御棒落下法を用いて測定する炉停止余裕は全制御棒を挿入した状態であるため、ここでは、ワンロッドスタックを考慮していない。

燃料カラム数	炉停止余裕 ρ_s (% $\Delta k/k$)
18	63.2 \pm 1.0
24	52.1 \pm 1.0
30	42.8 \pm 1.0

(7) 環状炉心での R2、R3 制御棒の臨界位置

18、24 燃料カラムを装荷した環状炉心について、C、R1 制御棒を全引き抜き、R2、R3 制御棒を同一位置に挿入した場合の実効増倍率の計算結果を Table 4-5、Fig 4-4 に示す。

臨界位置の最確値及び実効増倍率の解析誤差として $\pm 1.0\% \Delta k/k$ を考慮した場合の臨界位置の下限值、上限値は次の通りとなる。

燃料カラム数	R2、R3 の臨界制御棒位置 (mm)		
	下限値	最確値	上限値
18	2560	2680	2800
24	940	1260	1510

注： 下限値：実効増倍率にプラス側の誤差 $1.0\% \Delta k/k$ を考慮した場合

上限値：実効増倍率にマイナス側の誤差 $1.0\% \Delta k/k$ を考慮した場合

Table 4-1 Calculation results of effective multiplication factor (k_{eff}) for fuel additions. All control rods are fully withdrawn.

Fuel column numbers	k_{eff}	σ	k_{eff}^*	Excess reactivity ($\% \Delta k/k$) ρ_{ex}
3	0.790870	0.1918%	0.798	—
6	0.902125	0.1646%	0.912	—
9	0.947619	0.1620%	0.959	—
12	0.969017	0.0949%	0.980	—
14	0.980776	0.1458%	0.992	—
15	0.985778	0.1483%	0.998	—
16	0.991415	0.1216%	1.003	0.3
17	1.001440	0.1275%	1.014	1.3
18	1.011820	0.1385%	1.024	2.4
21	1.063380	0.1407%	1.077	7.2
24	1.103210	0.1331%	1.118	10.6
27	1.132500	0.1083%	1.148	12.9
30	1.139480	0.1010%	1.155	13.4

σ : Standard deviation from Monte Carlo method.

k_{eff}^* : Double heterogeneous effect of coated fuel particles in the compact is considered (+1.2% $\Delta k/k$).

Table 4-2 Calculation results of effective multiplication factor (k_{eff}) in various positions of the center control rod for the 16 fuel column-loaded core. R1, R2, R3 control rods are fully withdrawn.

Control rod positions (mm)	k_{eff}	σ	k_{eff}^*
C: 0, R1:4060, R2:3335, R3:4060	0.968189	0.1718%	0.980
C: 580, R1:4060, R2:3335, R3:4060	0.971208	0.1427%	0.983
C:1160, R1:4060, R2:3335, R3:4060	0.972935	0.1444%	0.984
C:1740, R1:4060, R2:3335, R3:4060	0.979869	0.1674%	0.992
C:2320, R1:4060, R2:3335, R3:4060	0.986789	0.1306%	0.999
C:2900, R1:4060, R2:3335, R3:4060	0.990425	0.1378%	1.002
C:4060, R1:4060, R2:3335, R3:4060	0.991415	0.1216%	1.003

σ : Standard deviation from Monte Carlo method.

k_{eff}^* : Double heterogeneous effect of coated fuel particles in the compact is considered (+1.2% $\Delta k/k$).

Table 4-3 Calculation results of effective multiplication factor (k_{eff}) after the first criticality. All control rods except R3 are inserted in the same position. R3 control rods are fully withdrawn.

Fuel column numbers	Control rod positions (mm)	k_{eff}	σ	k_{eff}^*
18	C:2320, R1:2320, R2:2320, R3:4060	0.930969	0.1763%	0.941
	C:2610, R1:2610, R2:2610, R3:4060	0.962116	0.1395%	0.973
	C:2900, R1:2900, R2:2900, R3:4060	1.001670	0.1442%	1.014
21	C:2320, R1:2320, R2:2320, R3:4060	0.978579	0.1184%	0.990
	C:2610, R1:2610, R2:2610, R3:4060	1.008480	0.1245%	1.021
	C:2900, R1:2900, R2:2900, R3:4060	1.047810	0.0970%	1.061
24	C:1740, R1:1740, R2:1740, R3:4060	0.942364	0.1634%	0.953
	C:2030, R1:2030, R2:2030, R3:4060	0.981973	0.1368%	0.994
	C:2320, R1:2320, R2:2320, R3:4060	1.017540	0.1301%	1.030
27	C:1740, R1:1740, R2:1740, R3:4060	0.977553	0.2247%	0.989
	C:2030, R1:2030, R2:2030, R3:4060	1.015500	0.1308%	1.028
	C:2320, R1:2320, R2:2320, R3:4060	1.049220	0.1271%	1.063
30	C:1450, R1:1450, R2:1450, R3:4060	0.949275	0.1792%	0.960
	C:1740, R1:1740, R2:1740, R3:4060	0.990801	0.1428%	1.003
	C:2030, R1:2030, R2:2030, R3:4060	1.023240	0.1167%	1.036

σ : Standard deviation from Monte Carlo method.

k_{eff}^* : Double heterogeneous effect of coated fuel particles in the compact is considered (+1.2% $\Delta k/k$).

Table 4-4 Calculation results of effective multiplication factor (k_{eff}) with all control rods fully inserted.

Fuel column numbers	Control rod positions (mm)	k_{eff}	σ	k_{eff}^*
18	C:0, R1:0, R2:0, R3:0	0.608202	0.2264%	0.613
24	C:0, R1:0, R2:0, R3:0	0.652513	0.1979%	0.658
30	C:0, R1:0, R2:0, R3:0	0.694646	0.1454%	0.700

σ : Standard deviation from Monte Carlo method.

k_{eff}^* : Double heterogeneous effect of coated fuel particles in the compact is considered (+1.2% $\Delta k/k$).

Table 4-5 Calculation results of effective multiplication factor (k_{eff}) for the annular core. C, R1 control rods are fully withdrawn and R2, R3 control rods are inserted in the same control rod positions.

Fuel column numbers	Control rod positions (mm)	k_{eff}	σ	k_{eff}^*
18	C:4060, R1:4060, R2: 0, R3: 0	0.819926	0.1479%	0.828
	C:4060, R1:4060, R2: 580, R3: 580	0.821280	0.1721%	0.829
	C:4060, R1:4060, R2: 1160, R3: 1160	0.851294	0.1655%	0.860
	C:4060, R1:4060, R2: 1740, R3: 1740	0.905663	0.1290%	0.916
	C:4060, R1:4060, R2: 2320, R3: 2320	0.957061	0.1481%	0.968
	C:4060, R1:4060, R2: 2900, R3: 2900	1.006410	0.1145%	1.019
	C:4060, R1:4060, R2: 3480, R3: 3480	1.012430	0.1188%	1.025
24	C:4060, R1:4060, R2: 0, R3: 0	0.967277	0.1110%	0.979
	C:4060, R1:4060, R2: 580, R3: 580	0.969370	0.1506%	0.981
	C:4060, R1:4060, R2: 1160, R3: 1160	0.984679	0.1494%	0.996
	C:4060, R1:4060, R2: 1740, R3: 1740	1.019060	0.1465%	1.032
	C:4060, R1:4060, R2: 2320, R3: 2320	1.058700	0.1125%	1.072
	C:4060, R1:4060, R2: 2900, R3: 2900	1.096780	0.0987%	1.111

σ : Standard deviation from Monte Carlo method.

k_{eff}^* : Double heterogeneous effect of coated fuel particles in the compact is considered (+1.2% $\Delta k/k$).

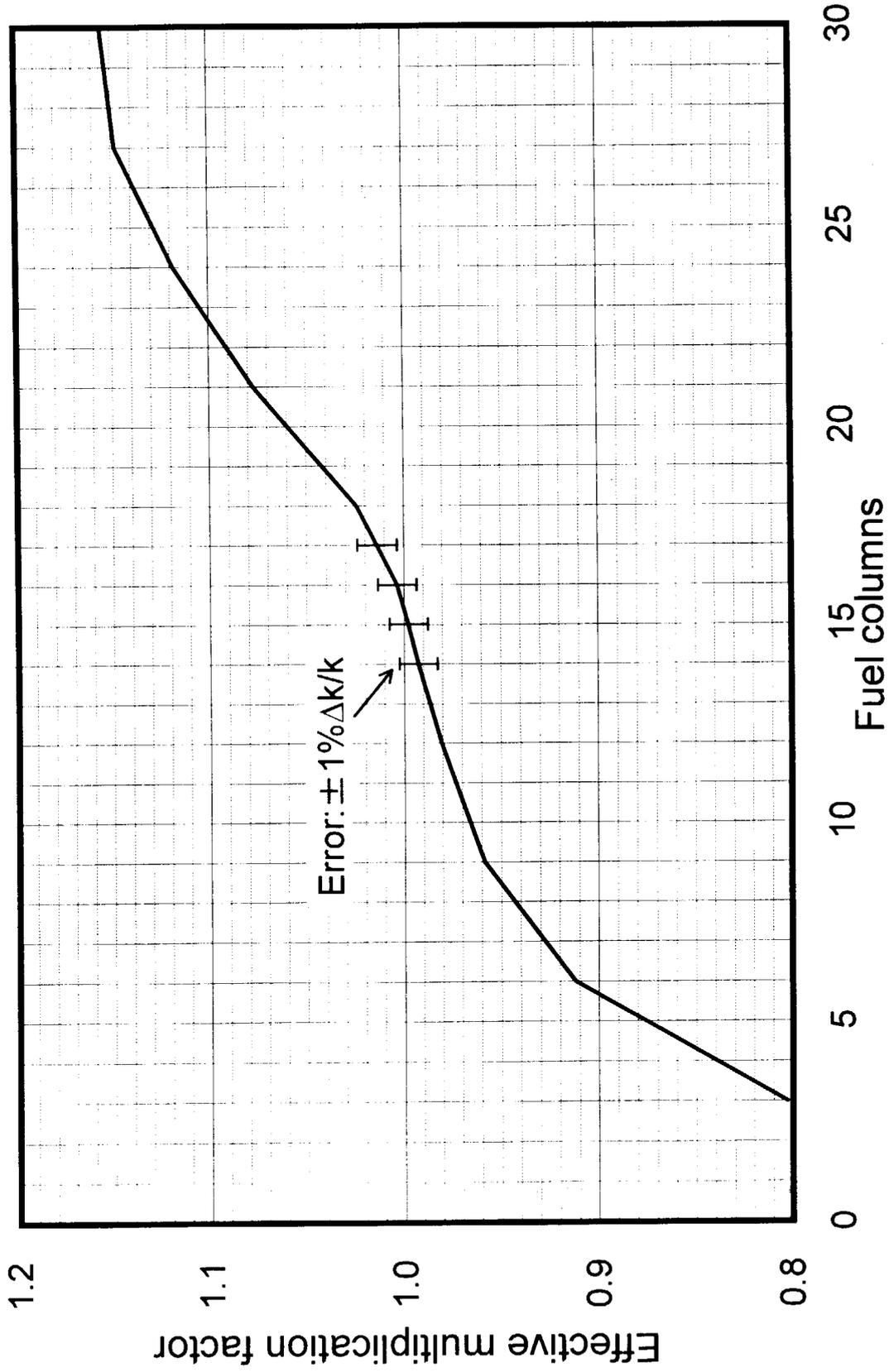


Fig.4-1 Effective multiplication factor with fuel loading. Double heterogeneous effect of coated fuel particles in the compact has been considered ($+1.2\% \Delta k/k$)

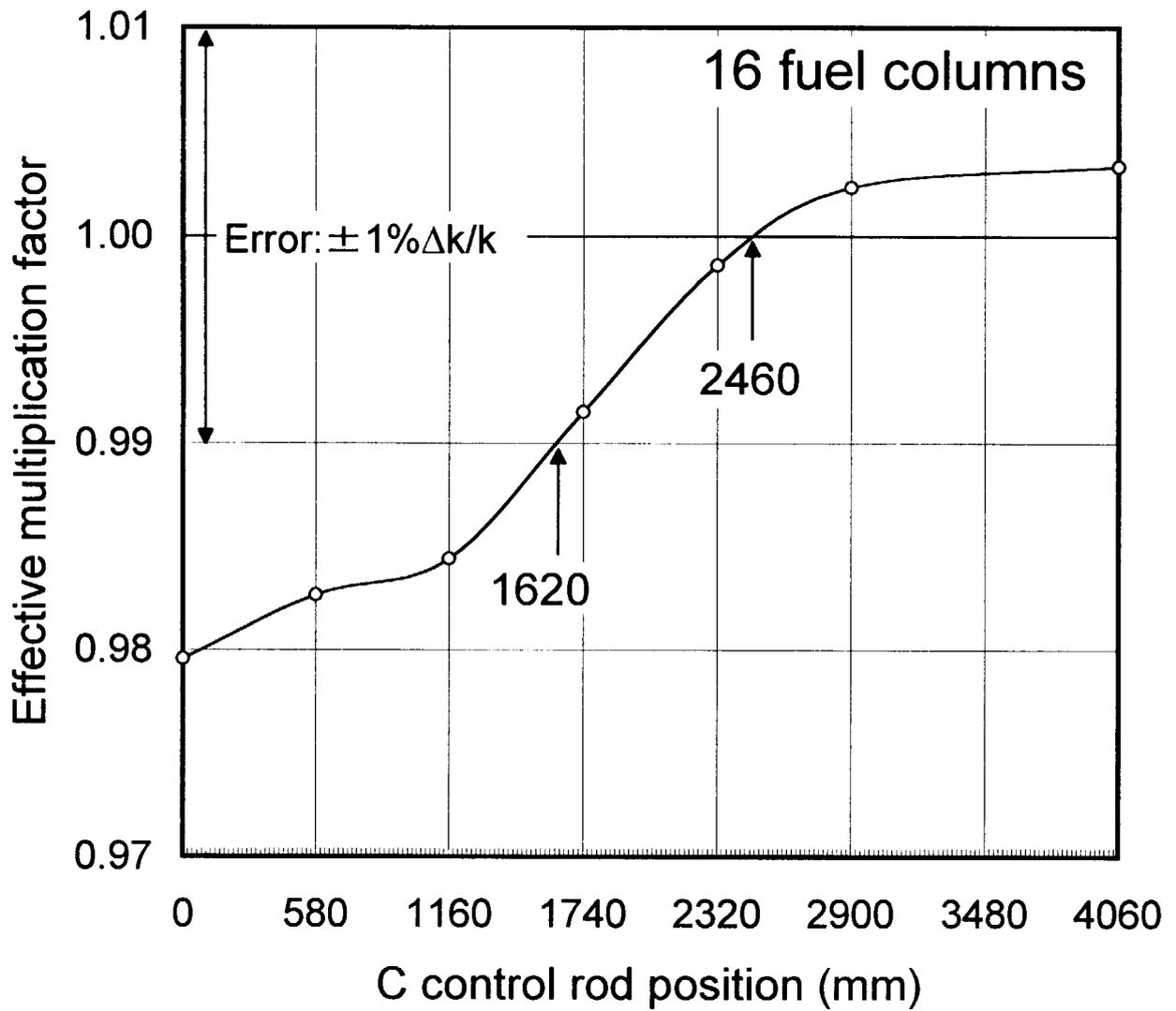


Fig.4-2 C control rod position at the first criticality. The other control rods are fully withdrawn.

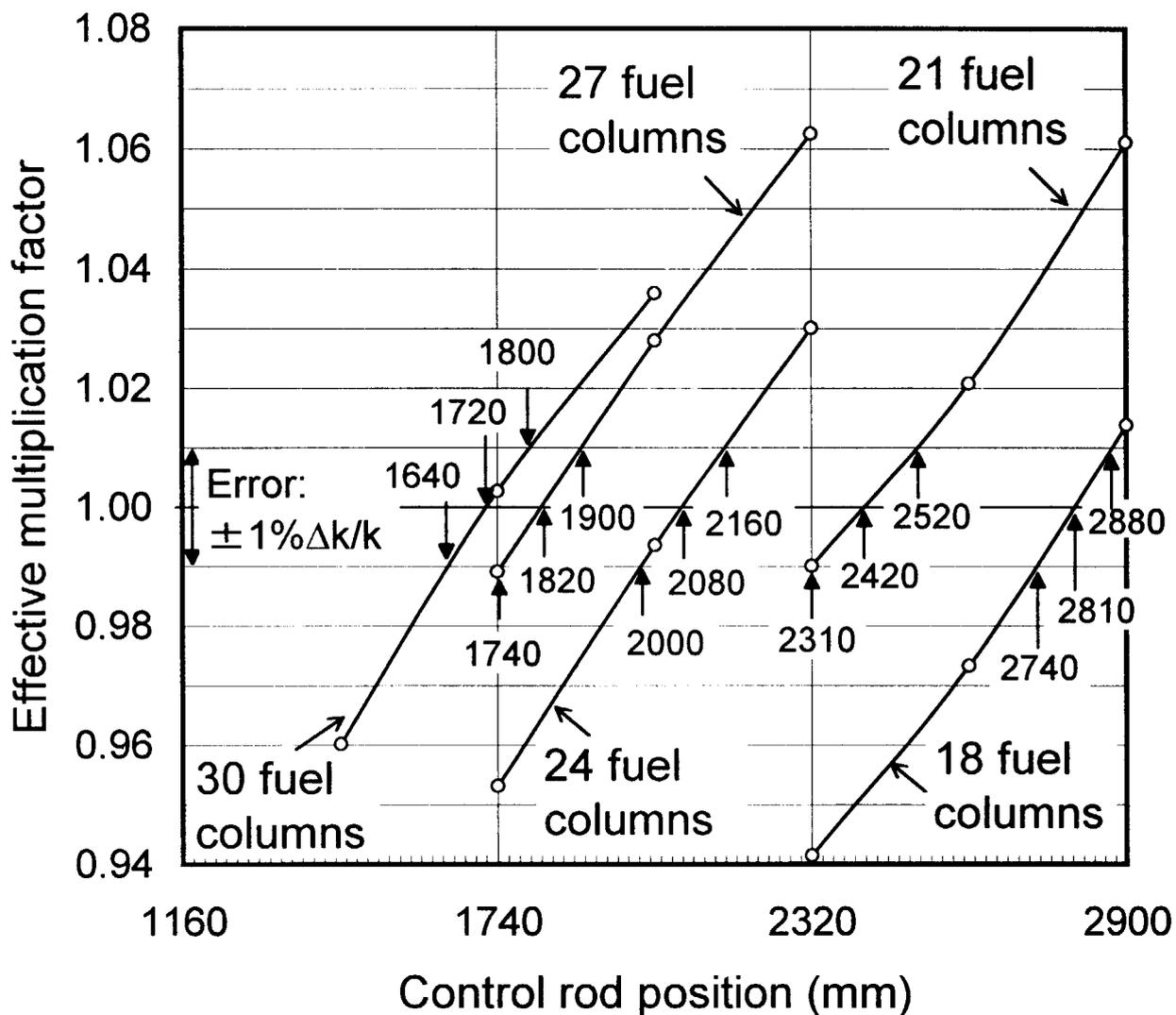


Fig.4-3 Effective multiplication factor for the same control rod positions of C, R1 and R2. The values in the plot area mean the criticality positions with analytical error.

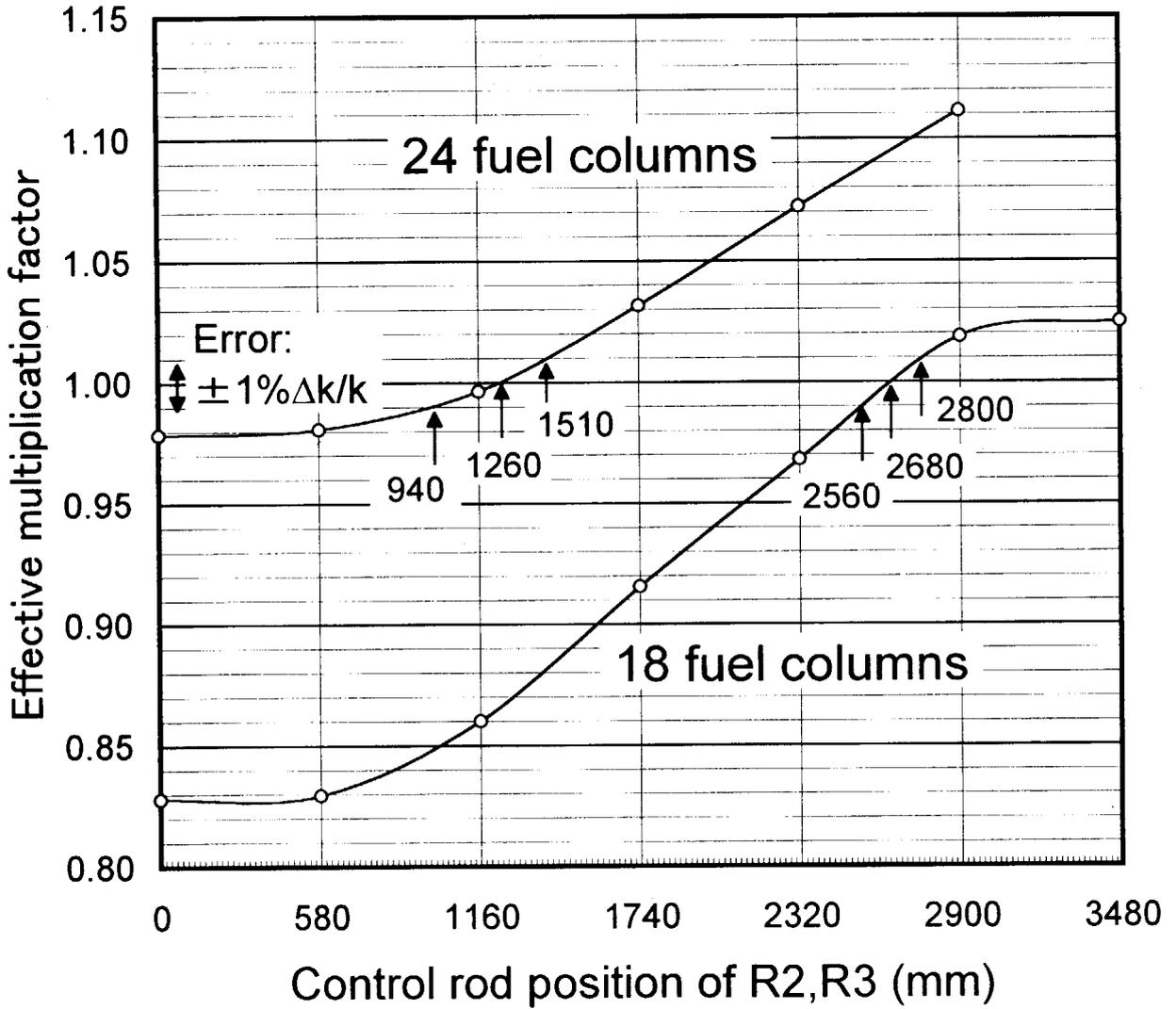


Fig.4-4 Effective multiplication factor of the core where control rod of R2 and R3 are positioned in the same level. C and R1 are fully withdrawn. The values in the plot area mean the criticality positions with analytical error.

5. 結言

連続エネルギー法に基づくモンテカルロ計算コード MVP を用いて、HTTR の炉心構造を直接炉心計算のモデルに取り入れることにより核特性解析を行った。その結果、初回臨界時には 16 カラム前後で到達し、その際第 1、2、3 リング制御棒を全引き抜きし中心制御棒だけを操作することで臨界近接、臨界到達が可能であること、全炉心構成において過剰反応度は $0.134\Delta k/k$ であり核的制限値を満足することを確認した。また、臨界試験での各状態の制御棒の臨界位置、炉停止余裕を求めた。これらの結果を臨界試験の計画策定に役立てることができた。

謝辞

本検討を進める上で、有益な助言を頂いた高温工学試験研究炉開発部田中利幸部長、同部 HTTR 技術開発室 茂木春義室長、武蔵工業大学 金子義彦教授、エネルギーシステム研究部 炉物理研究室 秋濃藤義主任研究員及び山根剛副主任研究員、同部 炉特性研究室 長家康展氏、材料試験炉部計画課 長尾美春氏に深く感謝いたします。

参考文献

- 1) 森貴正、中川正幸:JAERI-Data/Code 94-007, "MVP/GMVP 連続エネルギー法及び多群法に基づく汎用中性子・光子輸送計算モンテカルロコード", (1994)
- 2) K.Yamashita, "Neukonzipierung eines HTR für ein Modulsystem mit blockförmigen Brennelementen und dessen Vergleich mit einem HTR mit kugelförmigen Brennelementen", Jül-1842, Kernforschungsanlage Jülich GmbH, (1983)
- 3) K.Kunitomi, et. al., "Development of New Type of HTGR", The 73rd JSME Fall Annual Meeting, (1995).
- 4) A.J.Neylan, F.A.Silady, and A.M.Baxter, "Gas Turbine Module Helium Reactor (GT-MHR): A Multipurpose Passively Safe Next Generation Reactor", Proceedings of The ASME/JASME 3rd International Conference on Nuclear Engineering, (1995).
- 5) K.Shibata, et. al.,:JAERI-1319, "JENDL-3: Japanese Evaluation Nuclear Data Library, Version-3", (1990).
- 6) 奥村啓介、金子邦男、土橋敬一郎、:JAERI-Data/Code 96-015, "SRAC95; 汎用核計算コードシステム", (1996)
- 7) 野尻直喜、山下清信、藤本望、他:JAERI-Tech 97-060, "VHTRC 炉物理実験の解析によるモンテカルロコード MVP の精度評価 - 臨界時の実効増倍率、反応度調整材反応度、ボイド反応度-", (1997)

付録 1

燃料コンパクト内の非均質性の反応度効果について

1. 目的

二重非均質性を直接計算モデルに取り入れていない MVP の計算結果を補正する目的で、コンパクト内の CFP の非均質性の反応度効果を解析評価した。

2. 解析条件

(1) 計算コード

SRAC95 の衝突確立法計算モジュール(PIJ)を使用した。

(2) 計算モデル

燃料ピンを中心としたピンセル領域を、1次元 R 体系にモデル化した。二重非均質性は、被覆燃料粒子の形状寸法とダンコフ係数により燃料コンパクトの均質化断面積を求める際に考慮される。

(3) 計算条件

二重非均質性をモデル化した場合と、コンパクト内を均質化した場合の無限増倍率の相違から二重非均質性の効果を求めた。

3. 解析結果

二重非均質を考慮 $k_{\infty}=1.49843$

コンパクト内スミア $k_{\infty}=1.47231$

以上より、二重非均質性の反応度効果は $1.2\% \Delta k/k$ である。

付録 2

サンプルインプット

```

MVP_HTR-CRIT. HETERO MODEL 18col.C.R1.R2=290cm R3:full-out
( Cold clean : in He-tacm : with newBP/BF3/NS : With/OR-clad )
*
* OPTIONS (TERMINATED BY AN EMPTY LINE)
LATTICE RUSS-RUM NO-IMPORANCE NO-RESTART
FLUX-PRINT-DYNAM-C-MEMORY(1000000)
* PRINT-SUPPRESS(1) PICTURE
*
NG=6 NW=29 NP=400000 NH=10000
NGROUP N(<NG>) NMAT (<NM>) NMEMO(50) ICPUI(60000.0)
NPART (<NP>) NHT(<NH>) NBANK (<NBH1 1>) NFBANK (<NBH1.1>)
NSKIP(5) IRAND(19970313) NMEMS(50) NMEMOP(20)
NPLOT(0) DEPS(1.0E-5) DINF(1.0E20)
ETOP(2.0E-7) EBO(1.0E-5)
/*
/*----- Cross section data
$XSEC
* HTR-RINKAI
* IDMAT(1) CO 101325 Pa Ro=0.1785E-3g/cm3
* HE4003J3 ( 2.6900E-5)
* GRAPHITE IG-110-100%
* IDMAT(2)
B0003J3 ( 7.1443E-9)
B01003J3 ( 2.8938E-8)
C0203J3 ( 8.874E-2)
* GRAPHITE IG-11-100%
* IDMAT(3)
B0003J3 ( 5.4656E-8)
B01003J3 ( 2.2138E-7)
C0203J3 ( 8.874E-2)
* HANDLING HOLE IG-110-76%
* IDMAT(4)
B0003J3 ( 5.4509E-9)
B01003J3 ( 2.2078E-8)
C0203J3 ( 6.7708E-2)
* IDMAT(5)
B0003J3 ( 4.1701E-8)
B01003J3 ( 1.6891E-7)
C0203J3 ( 6.7708E-2)
* FIXED REFLECTOR PGX-99.3%
* IDMAT(6)
B0003J3 ( 3.6170E-8)
B01003J3 ( 1.4651E-7)
C0203J3 ( 8.6095E-2)
* SP-2.0% ----->2.22%(P)
* IDMAT(7)
B0003J3 ( 4.4612E-4)
B01003J3 ( 1.7640E-3)
C0203J3 ( 8.7597E-2)
* SP-2.5% ----->2.74%(P)
* IDMAT(8)
B0003J3 ( 5.6048E-4)
B01003J3 ( 2.2162E-3)
C0203J3 ( 8.8691E-2)
* GRAPHITE PELET
* IDMAT(9)
B0003J3 ( 1.9608E-9)
B01003J3 ( 7.8928E-9)
C0203J3 ( 8.8693E-2)
* CR-ABSORBER/C
* IDMAT(90)
B0003J3 ( 5.8182E-3)
B01003J3 ( 2.3467E-2)
C0203J3 ( 6.1507E-2)
* CR-ABSORBER/R1
* IDMAT(91)
B0003J3 ( 5.9725E-3)
B01003J3 ( 2.4080E-2)
C0203J3 ( 6.3139E-2)
* CR-ABSORBER/R2
* IDMAT(92)
B0003J3 ( 6.0045E-3)
B01003J3 ( 2.4219E-2)
C0203J3 ( 6.3477E-2)
* CR-ABSORBER/R3
B0003J3 ( 6.0600E-3)
C0203J3 ( 6.4064E-2)
* ALUMINUM
* IDMAT(10)
AL7003J3 ( 6.0262E-2)
* ALUMINUM-OXIDE
* IDMAT(11)
O06003J3 ( 6.2937E-2)
AL7003J3 ( 4.1958E-2)
SUS304
* IDMAT(12)
FEN003J3 ( 6.1122E-2)
CRN003J3 ( 1.7384E-2)
NIN003J3 ( 7.4981E-3)
* GRAPHITE IG-110-100%(DUMMY)
* IDMAT(13)
B0003J3 ( 7.1443E-9)
B01003J3 ( 2.8938E-8)
C0203J3 ( 8.874E-2)
* GRAPHITE IG-11-100%(DUMMY)
* IDMAT(14)
B0003J3 ( 5.4656E-8)
B01003J3 ( 2.2138E-7)
C0203J3 ( 8.874E-2)
* FIXED REFLECTOR PGX-99.3%(DUMMY)
* IDMAT(15)
B0003J3 ( 3.6710E-8)
B01003J3 ( 1.4651E-7)
C0203J3 ( 8.6095E-2)
* FUEL-3.4% (300K) ----->3.301%
* IDMAT(16)
U05003J3 ( 6.4509E-5)
U08003J3 ( 1.8659E-3)
B0003J3 ( 2.6099E-8)
B01003J3 ( 1.0505E-7)
C0203J3 ( 7.6529E-2)
O06W03J3 ( 3.8607E-3)
SIN003J3 ( 1.9595E-3)
* FUEL-3.9% (300K) ----->3.864%
* IDMAT(17)
U05003J3 ( 7.4887E-5)
U08003J3 ( 1.8396E-3)
B0003J3 ( 2.4835E-8)
B01003J3 ( 9.9963E-8)
C0203J3 ( 7.5883E-2)
O06W03J3 ( 3.8291E-3)
SIN003J3 ( 1.9798E-3)
* FUEL-4.3% (300K) ----->4.290%
* IDMAT(18)
U05003J3 ( 8.3358E-5)
U08003J3 ( 1.8362E-3)
B0003J3 ( 2.4642E-8)
B01003J3 ( 9.9189E-8)
C0203J3 ( 7.6070E-2)
O06W03J3 ( 3.8392E-3)
SIN003J3 ( 1.9952E-3)
* FUEL-4.8% (300K) ----->4.794%
* IDMAT(19)
U05003J3 ( 9.3663E-5)
U08003J3 ( 1.8366E-3)
B0003J3 ( 2.4133E-8)
B01003J3 ( 9.7138E-8)
C0203J3 ( 7.6083E-2)
O06W03J3 ( 3.8605E-3)
SIN003J3 ( 1.9843E-3)
* FUEL-5.2% (300K) ----->5.162%
* IDMAT(20)
U05003J3 ( 1.0049E-4)
U08003J3 ( 1.8229E-3)
B0003J3 ( 2.4651E-8)
B01003J3 ( 9.9222E-8)

```

```

C02003J3 ( 7.6040E-2)
U06003J3 ( 3.8468E-4)
SIN003J3 ( 2.0311E-3)
* FUEL-5.9% (300K) ----->5.914%
& IDMAT (21)
U05003J3 ( 1.1448E-4)
U08003J3 ( 1.7963E-3)
B00003J3 ( 1.3937E-8)
B01003J3 ( 5.6098E-8)
C02003J3 ( 7.6100E-2)
U06003J3 ( 3.8255E-3)
SIN003J3 ( 2.0076E-3)
* FUEL-6.3% (300K) ----->6.254%
& IDMAT (22)
U05003J3 ( 1.2041E-4)
U08003J3 ( 1.7922E-3)
B00003J3 ( 1.4730E-8)
B01003J3 ( 5.9288E-8)
C02003J3 ( 7.5952E-2)
U06003J3 ( 3.8052E-3)
SIN003J3 ( 1.9737E-3)
* FUEL-6.7% (300K) ----->6.681%
& IDMAT (23)
U05003J3 ( 1.2899E-4)
U08003J3 ( 1.7900E-3)
B00003J3 ( 1.3698E-8)
B01003J3 ( 5.4973E-8)
C02003J3 ( 7.6067E-2)
U06003J3 ( 3.8138E-3)
SIN003J3 ( 1.9738E-3)
* FUEL-7.2% (300K) ----->7.189%
& IDMAT (24)
U05003J3 ( 1.3793E-4)
U08003J3 ( 1.7930E-3)
B00003J3 ( 2.3131E-8)
B01003J3 ( 9.3106E-8)
C02003J3 ( 7.5940E-2)
U06003J3 ( 3.8240E-3)
SIN003J3 ( 1.9505E-3)
* FUEL-7.8% (300K) ----->7.82%
& IDMAT (25)
U05003J3 ( 1.5269E-4)
U08003J3 ( 1.7571E-3)
B00003J3 ( 2.3021E-8)
B01003J3 ( 6.631E-8)
C02003J3 ( 7.6692E-2)
U06003J3 ( 3.8892E-3)
SIN003J3 ( 1.8882E-3)
* FUEL-9.4% (300K) ----->9.358%
& IDMAT (26)
U05003J3 ( 1.7780E-4)
U08003J3 ( 1.7005E-3)
B00003J3 ( 2.4148E-8)
B01003J3 ( 6.7191E-8)
C02003J3 ( 7.6234E-2)
U06003J3 ( 3.7564E-3)
SIN003J3 ( 1.9281E-3)
* FUEL-9.9% (300K) ----->9.81%
& IDMAT (27)
U05003J3 ( 1.8849E-4)
U08003J3 ( 1.7002E-3)
B00003J3 ( 2.4593E-8)
B01003J3 ( 6.8994E-8)
C02003J3 ( 7.6994E-2)
U06003J3 ( 3.7075E-3)
SIN003J3 ( 1.8162E-3)
* BF3-6.45%
& IDMAT (28)
B00003J3 ( 2.0269E-4)
B01003J3 ( 6.4844E-6)
U06003J3 ( 6.3633E-4)
CR-clad (a)loy-800H)
& IDMAT (29)
AL7003J3 ( 6.7125E-4)
SIN003J3 ( 5.5962E-4)
TIN003J3 ( 3.7827E-4)

```

```

GRN003J3 ( 1.9506E-2)
MNS003J3 ( 6.5934E-4)
FEN003J3 ( 3.67959E-2)
NIN003J3 ( 2.6745E-2)
GUN003J3 ( 2.8501E-4)
* 9thlock-hole
& IDMAT (30)
HE4003J3 ( 8.9066E-6)
B00003J3 ( 4.7788E-9)
B01003J3 ( 1.9357E-8)
C02003J3 ( 5.9381E-2)
$END XSEC

$GEOMETRY
* Enter CR insertion depth in the top reflector
** C-CR
CRT1 = 116.0
** R1-CR (6-pairs)
** R2-CR (6-pairs)
** R3-CR (3-pairs)
* Enter CR insertion depth in the fuel
** C-CR
** R1-CR (6-pairs)
** R2-CR (6-pairs)
** R3-CR (3-pairs)
** CR absorber outer radius
** CR absorber inner radius
** CR clad outer radius
** CR clad inner radius
** Absorber length
** if (CRCl+116) gt ABSL, change to real height!
** if (CRCl+116) gt ABSL, change to real height!
** if (CRCl+116) gt ABSL, change to real height!
** Block pitch (incl. gap)
** Block across flat
** Height of HTR
** Height of Block
** Height of Block (bottom)
** Fuel height
** BP height
** Height difference with SB to OB
** Block diagonal length
** Radius of HTR
** Fuel pin pitch
** Cell diagonal length
** Distance from center to CR hole center
** CR-CELL across flat
** Radius of SB-hole-1
** Radius of SB-hole-2
** Guide tube radius for detector
** Guide tube radius for neutron source
** Thickness
** HClC= 2.54*7.5
** HBF3= 24.1
** RfC= 2.5/2
** HFO= 2.5
***** LATTICE DATA *****
***** Core
IDLAT (100) NVLAT (17 17)
LTP (3) SZLAT (PS) 30.0 <HB*5>
SZHEX ( 0 0 0.0 <DR> <HB*5> 0.0 )
ROCELL ( 9 9 )
** lattice cell assignments.
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
0 0 60 60 60 60 60 60 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
0 60 60 60 60 60 60 60 60 0 0 0 0 0 0 0 0
0 60 60 60 60 60 60 60 60 60 0 0 0 0 0 0 0
0 60 60 60 58 40 52 40 53 60 60 60 0 0 0 0 0 0

```



```

SZLAT <CRB> 30.0 <HB*5> <PB> <HB*5> 0.0 )
SZHEX <CRX> <CRY> <CRZ> <HB*5> 0.0 )
RCELL { 3 3 }
KLATT { /*** OR lattice (CORE) R2-CB OR IN
404 404 404 000
404 408 821 404
000 000 404 404 }
KSLAT( <4*4>(0) )
IDLAT(830)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1)
SZLAT <CRB> 30.0 <HB*5> <PB> <HB*5> 0.0 )
SZHEX <CRX> <CRY> <CRZ> <HB*5> 0.0 )
RCELL { 3 3 }
KLATT { /*** OR lattice (CORE) R3-CB OR IN
404 404 404 000
404 408 831 404
000 000 404 404 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(500)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1)
SZLAT <CRB> 30.0 <HB*5> <PB> <HB*5> 0.0 )
SZHEX <CRX> <CRY> <CRZ> <HB*5> 0.0 )
RCELL { 3 3 }
KLATT { /*** OR lattice (CORE) N17(BF3-FC-C10)
504 504 504 000
504 503 502 504
000 000 504 504
000 000 504 504 }
KSLAT( <4*4>(0) )
IDLAT(505)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1)
SZLAT <CRB> 30.0 <HB*5> <PB> <HB*5> 0.0 )
SZHEX <CRX> <CRY> <CRZ> <HB*5> 0.0 )
RCELL { 3 3 }
KLATT { /*** OR lattice (CORE) N18(BF3-FC-C10)
504 504 504 000
504 508 507 504
000 000 504 504
000 000 504 504 }
KSLAT( <4*4>(0) )
IDLAT(530)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1)
SZLAT <CRB> 30.0 <HB*5> <PB> <HB*5> 0.0 )
SZHEX <CRX> <CRY> <CRZ> <HB*5> 0.0 )
RCELL { 3 3 }
KLATT { /*** OR lattice (CORE) N19(BF3-FC-NS)
504 504 504 000
504 533 532 504
000 000 531 504
000 000 504 504 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(410)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1)
SZLAT <CRB> 30.0 <HB*2> <PB> <HB*2> 0.0 )
SZHEX <CRX> <CRY> <CRZ> <HB*2> 0.0 )
RCELL { 3 3 }
KLATT { /*** OR lattice (TOP)
414 414 414 000
414 413 411 414
000 000 414 414 }
KSLAT( <4*4>(0) )
IDLAT(850)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1)
SZLAT <CRB> 30.0 <HB*2> <PB> <HB*2> 0.0 )
SZHEX <CRX> <CRY> <CRZ> <HB*2> 0.0 )
RCELL { 3 3 }
KLATT { /*** OR lattice (TOP)
414 418 851 414
414 418 851 414
000 000 414 414 }
KSLAT( <4*4>(0) )

KSLAT( <4*4>(0) )
IDLAT(860)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1)
SZLAT <CRB> 30.0 <HB*2> <PB> <HB*2> 0.0 )
SZHEX <CRX> <CRY> <CRZ> <HB*2> 0.0 )
RCELL { 3 3 }
KLATT { /*** OR lattice (TOP)
414 414 414 000
414 418 861 414
000 000 414 414 }
KSLAT( <4*4>(0) )
IDLAT(870)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1)
SZLAT <CRB> 30.0 <HB*2> <PB> <HB*2> 0.0 )
SZHEX <CRX> <CRY> <CRZ> <HB*2> 0.0 )
RCELL { 3 3 }
KLATT { /*** OR lattice (TOP)
414 414 414 000
414 418 871 414
000 000 414 414 }
KSLAT( <4*4>(0) )
IDLAT(880)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1)
SZLAT <CRB> 30.0 <HB*2> <PB> <HB*2> 0.0 )
SZHEX <CRX> <CRY> <CRZ> <HB*2> 0.0 )
RCELL { 3 3 }
KLATT { /*** OR lattice (TOP)
414 414 414 000
414 418 881 414
000 000 414 414 }
KSLAT( <4*4>(0) )
IDLAT(510)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1)
SZLAT <CRB> 30.0 <HB*2> <PB> <HB*2> 0.0 )
SZHEX <CRX> <CRY> <CRZ> <HB*2> 0.0 )
RCELL { 3 3 }
KLATT { /*** OR lattice (TOP) N17
514 514 514 000
514 513 512 514
000 000 514 514 }
KSLAT( <4*4>(0) )
IDLAT(515)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1)
SZLAT <CRB> 30.0 <HB*2> <PB> <HB*2> 0.0 )
SZHEX <CRX> <CRY> <CRZ> <HB*2> 0.0 )
RCELL { 3 3 }
KLATT { /*** OR lattice (TOP) N18
514 514 514 000
514 518 517 514
000 000 514 514 }
KSLAT( <4*4>(0) )
IDLAT(540)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1)
SZLAT <CRB> 30.0 <HB*2> <PB> <HB*2> 0.0 )
SZHEX <CRX> <CRY> <CRZ> <HB*2> 0.0 )
RCELL { 3 3 }
KLATT { /*** OR lattice (TOP) N19
514 514 514 000
514 543 542 514
000 000 514 514 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(420)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1)
SZLAT <CRB> 30.0 <HB*HB2> <PB> <HB*HB2> 0.0 )
SZHEX <CRX> <CRY> <CRZ> <HB*HB2> 0.0 )
RCELL { 3 3 }
KLATT { /*** OR lattice (BOT)
424 424 424 000

```

```

424 423 421 424
000 424 421 424
000 000 424 424
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(610)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1) <HB>
SZLAT <ORB> 30 0 <HB>
SZHEX <CRX> <CR> <PB> <HB> 0 0 )
RCELL { 3 3 } /*** CR lattice (3-holes, 1-BLOCK)-4
KLATT { 614 614 614 000
      614 614 611 614
      000 614 611 614
      000 000 614 614 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(615)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1) <HB>
SZLAT <ORB> 30 0 <HB>
SZHEX <CRX> <CR> <PB> <HB> 0 0 )
RCELL { 3 3 } /*** CR lattice (2-holes, 1-BLOCK)-4
KLATT { 614 614 614 000
      614 614 611 614
      000 614 611 614
      000 000 614 614 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(620)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1) <HB>
SZLAT <ORB> 30 0 <HB>
SZHEX <CRX> <CR> <PB> <HB> 0 0 )
RCELL { 3 3 } /*** CR lattice (3-holes, 1-BLOCK)-3
KLATT { 624 624 624 000
      624 623 621 624
      000 624 621 624
      000 000 624 624 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(630)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1) <HB>
SZLAT <ORB> 30 0 <HB>
SZHEX <CRX> <CR> <PB> <HB> 0 0 )
RCELL { 3 3 } /*** CR lattice (3-holes, 1-BLOCK)-2
KLATT { 634 634 634 000
      634 633 631 634
      000 634 631 634
      000 000 634 634 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(700)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1) <HB>
SZLAT <ORB> 30 0 <HB>
SZHEX <CRX> <CR> <PB> <HB> 0 0 )
RCELL { 3 3 } /*** Coolant hole-41 lattice on SB
KLATT { 704 704 704 000
      704 701 701 704
      000 704 701 704
      000 000 704 704 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(710)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1) <HB>
SZLAT <ORB> 30 0 <HB>
SZHEX <CRX> <CR> <PB> <HB> 0 0 )
RCELL { 3 3 } /*** Coolant hole-41 lattice on SB
KLATT { 714 714 714 000
      714 711 711 714
      000 714 711 714
      000 000 714 714 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(720)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1) <HB>
SZLAT <ORB> 30 0 <HB>
SZHEX <CRX> <CR> <PB> <HB> 0 0 )
RCELL { 3 3 } /*** Coolant hole-41 lattice on SB
KLATT { 724 724 724 000
      724 721 721 724
      000 724 721 724
      000 000 724 724 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(730)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1) <HB>
SZLAT <ORB> 30 0 <HB>
SZHEX <CRX> <CR> <PB> <HB> 0 0 )
RCELL { 3 3 } /*** Coolant hole-41 lattice on SB
KLATT { 734 734 734 000
      734 731 731 734
      000 734 731 734
      000 000 734 734 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(740)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1) <HB>
SZLAT <ORB> 30 0 <HB>
SZHEX <CRX> <CR> <PB> <HB> 0 0 )
RCELL { 3 3 } /*** Coolant hole-41 lattice on SB
KLATT { 744 744 744 000
      744 741 741 744
      000 744 741 744
      000 000 744 744 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(750)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1) <HB>
SZLAT <ORB> 30 0 <HB>
SZHEX <CRX> <CR> <PB> <HB> 0 0 )
RCELL { 3 3 } /*** Coolant hole-60 lattice on SB
KLATT { 754 754 754 000
      754 751 751 754
      000 754 751 754
      000 000 754 754 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(760)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1) <HB>
SZLAT <ORB> 30 0 <HB>
SZHEX <CRX> <CR> <PB> <HB> 0 0 )
RCELL { 3 3 } /*** Coolant hole-60 lattice on SB
KLATT { 764 764 764 000
      764 761 761 764
      000 764 761 764
      000 000 764 764 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(770)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1) <HB>
SZLAT <ORB> 30 0 <HB>
SZHEX <CRX> <CR> <PB> <HB> 0 0 )
RCELL { 3 3 } /*** Coolant hole-60 lattice on SB
KLATT { 774 774 774 000
      774 771 771 774
      000 774 771 774
      000 000 774 774 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(780)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1) <HB>
SZLAT <ORB> 30 0 <HB>
SZHEX <CRX> <CR> <PB> <HB> 0 0 )
RCELL { 3 3 } /*** Coolant hole-60 lattice on SB
KLATT { 784 784 784 000
      784 781 781 784
      000 784 781 784
      000 000 784 784 }
KSLAT( <4*4>(0) )

IDLAT(790)
LTP(2) NVLAT( 4 4 1) <HB>
SZLAT <ORB> 30 0 <HB>
SZHEX <CRX> <CR> <PB> <HB> 0 0 )
RCELL { 3 3 } /*** Coolant hole-60 lattice on SB
KLATT { 794 794 794 000
      794 791 791 794
      000 794 791 794
      000 000 794 794 }
KSLAT( <4*4>(0) )

```



```

NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#SUBFRAME : DFUE195 : -740 : 1105 /** A D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#CELL ID(20) TYPE(HEXA) /** DUMMY FUEL
CBG20 : -999 : -1000
OGAP1m : 1000 1001 -1101
OGAP2m : 1000 1002 -1102
OGAP3m : 1000 1003 -1103
OGAP4m : 1000 1004 -1104
OGAP5m : 1000 1005 -1105
DFUE201 : -750 : 1101 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#SUBFRAME : DFUE202 : -760 : 1102 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#SUBFRAME : DFUE203 : -770 : 1103 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#SUBFRAME : DFUE204 : -780 : 1104 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#SUBFRAME : DFUE205 : -790 : 1105 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#CELL ID(21) TYPE(HEXA) /** DUMMY FUEL
CBG21 : -999 : -1000
OGAP1m : 1000 1001 -1101
OGAP2m : 1000 1002 -1102
OGAP3m : 1000 1003 -1103
OGAP4m : 1000 1004 -1104
OGAP5m : 1000 1005 -1105
DFUE211 : -700 : 1101 /** B-1 D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#SUBFRAME : DFUE212 : -610 : 1102 /** OB(1)
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#SUBFRAME : DFUE213 : -620 : 1103 /** OB(1)
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#SUBFRAME : DFUE214 : -630 : 1104 /** OB(1)
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#SUBFRAME : DFUE215 : -740 : 1105 /** B-1 D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME

```

```

#END SUBFRAME
#CELL ID(17) TYPE(HEXA) /** FUEL BLOCK REGION-3(31 P IN)
CBG17 : -999 : -1000
OGAP13 : 1000 1001 -1101
OGAP23 : 1000 1002 -1102
OGAP33 : 1000 1003 -1103
OGAP43 : 1000 1004 -1104
OGAP53 : 1000 1005 -1105
FCOL17 : -250 : 1100
#END CELL
#SUBFRAME
NAMES ( FUEL BP BPHOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#CELL ID(18) TYPE(HEXA) /** FUEL BLOCK REGION-3(31 P IN)
CBG18 : -999 : -1000
OGAP13 : 1000 1001 -1101
OGAP23 : 1000 1002 -1102
OGAP33 : 1000 1003 -1103
OGAP43 : 1000 1004 -1104
OGAP53 : 1000 1005 -1105
FCOL18 : -250 : 1100
#END CELL
#SUBFRAME
NAMES ( FUEL BP BPHOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#CELL ID(19) TYPE(HEXA) /** DUMMY FUEL
CBG19 : -999 : -1000
OGAP1m : 1000 1001 -1101
OGAP2m : 1000 1002 -1102
OGAP3m : 1000 1003 -1103
OGAP4m : 1000 1004 -1104
OGAP5m : 1000 1005 -1105
DFUE191 : -700 : 1101 /** B-1 D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#SUBFRAME : DFUE192 : -615 : 1102 /** OB(3)
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#SUBFRAME : DFUE193 : -620 : 1103 /** OB(2)
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( HOLE OTHERS)
#END SUBFRAME
#SUBFRAME : DFUE194 : -730 : 1104 /** B-2 D-fuel
#SUBFRAME

```



```

#DFUE284 : DFUE284 : -780 : 1104 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE285 : DFUE285 : -790 : 1105 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#CELL ID(29) TYPE(HEXA) /** DUMMY FUEL
CBC29 : -999 : -1000
OGAP1m : OGAP1m : 1000 1001 -1101
OGAP2m : OGAP2m : 1000 1002 -1102
OGAP3m : OGAP3m : 1000 1003 -1103
OGAP4m : OGAP4m : 1000 1004 -1104
OGAP5m : OGAP5m : 1000 1005 -1105
DFUE291 : DFUE291 : -750 : 1101 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE292 : DFUE292 : -760 : 1102 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE293 : DFUE293 : -770 : 1103 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE294 : DFUE294 : -780 : 1104 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE295 : DFUE295 : -790 : 1105 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#CELL ID(30) TYPE(HEXA) /** DUMMY FUEL
CBC30 : -999 : -1000
OGAP1m : OGAP1m : 1000 1001 -1101
OGAP2m : OGAP2m : 1000 1002 -1102
OGAP3m : OGAP3m : 1000 1003 -1103
OGAP4m : OGAP4m : 1000 1004 -1104
OGAP5m : OGAP5m : 1000 1005 -1105
DFUE301 : DFUE301 : -750 : 1101 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE302 : DFUE302 : -760 : 1102 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE303 : DFUE303 : -770 : 1103 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE304 : DFUE304 : -780 : 1104 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE305 : DFUE305 : -790 : 1105 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)

```

```

NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE263 : DFUE263 : -770 : 1103 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE264 : DFUE264 : -780 : 1104 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE265 : DFUE265 : -790 : 1105 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#CELL ID(27) TYPE(HEXA) /** DUMMY FUEL
CBC27 : -999 : -1000
OGAP1m : OGAP1m : 1000 1001 -1101
OGAP2m : OGAP2m : 1000 1002 -1102
OGAP3m : OGAP3m : 1000 1003 -1103
OGAP4m : OGAP4m : 1000 1004 -1104
OGAP5m : OGAP5m : 1000 1005 -1105
DFUE271 : DFUE271 : -750 : 1101 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE272 : DFUE272 : -760 : 1102 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE273 : DFUE273 : -770 : 1103 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE274 : DFUE274 : -780 : 1104 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE275 : DFUE275 : -790 : 1105 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#CELL ID(28) TYPE(HEXA) /** DUMMY FUEL
CBC28 : -999 : -1000
OGAP1m : OGAP1m : 1000 1001 -1101
OGAP2m : OGAP2m : 1000 1002 -1102
OGAP3m : OGAP3m : 1000 1003 -1103
OGAP4m : OGAP4m : 1000 1004 -1104
OGAP5m : OGAP5m : 1000 1005 -1105
DFUE281 : DFUE281 : -750 : 1101 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE282 : DFUE282 : -760 : 1102 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#DFUE283 : DFUE283 : -770 : 1103 /** B-simple D-fuel
#SUBFRAME
NAMES ( HOLE OTHERS)
SPACE ( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 2 2 )
#END SUBFRAME

```



```

#END CELL
#SUBFRAME
NAMES( HOLE OTHERS CR )
SPACE( 2 2 2 0 2 1 3 2 0 2 3 2 0 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#CELL ID(53) TYPE(HEXA) /** R3-CB-CORE
CBR3-C : -999 : 2000
OGAP : -999 : 2000
R3-CB : -830 : 2100
CROUT4 : -400 : 2100
* R3-CB : CROUT4 : -400 : 2100
#END CELL
#SUBFRAME
NAMES( HOLE OTHERS )
SPACE( 2 2 2 0 2 1 1 2 0 2 1 2 0 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#CELL ID(40) TYPE(HEXA) /** MREF. BLOCK
CBC : -999 : -1000
OGAP1m : 1 : 1000 1001 -1101
OGAP2m : 1 : 1000 1002 -1102
OGAP3m : 1 : 1000 1003 -1103
OGAP4m : 1 : 1000 1004 -1104
OGAP5m : 1 : 1000 1005 -1105
MREF1 : 2 : 1101
MREF2 : 2 : 1102
MREF3 : 2 : 1103
MREF4 : 2 : 1104
MREF5 : 2 : 1105
#END CELL
#CELL ID(57) TYPE(HEXA) /** CB BLOCK-IRD17
CBC : -999 : 2000
OGAP : 1 : 2000 -2100
IRD17 : -500 : 2100
#END CELL
#SUBFRAME
NAMES( BF3 C1C V01D OTHERS )
SPACE( 4 3 2 4
0 4 1 4
0 0 4 4 )
#END SUBFRAME
#CELL ID(58) TYPE(HEXA) /** CB BLOCK-IRD18
CBC : -999 : 2000
OGAP : 1 : 2000 -2100
IRD18 : -505 : 2100
#END CELL
#SUBFRAME
NAMES( BF3 C1C V01D OTHERS )
SPACE( 4 3 2 4
0 4 1 4
0 0 4 4 )
#END SUBFRAME
#CELL ID(59) TYPE(HEXA) /** CB BLOCK-IRD19
CBC : -999 : 2000
OGAP : 1 : 2000 -2100
IRD19 : -530 : 2100
#END CELL
#SUBFRAME
NAMES( BF3 NS V01D OTHERS )
SPACE( 4 3 2 4
0 4 1 4
0 0 4 4 )
#END SUBFRAME
#CELL ID(60) TYPE(HEXA) /** FIXED REFLECTOR
FREF1 : -999 : -1000
FREF2 : 6 : 1000 1001
FREF3 : 6 : 1000 1002
FREF4 : 6 : 1000 1003
FREF5 : 6 : 1000 1004
FREF6 : 6 : 1000 1005
#END CELL
#END CELL
#CELL ID(101) TYPE(HEXA) /** TREF-SB33
TRSB : -999 : -1020
OGAP : 1 : 1020 -1120
TRSB3 : -300 : 1120
#END CELL
#SUBFRAME
NAMES( HOLE OTHERS )
SPACE( 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 )
#END SUBFRAME
#CELL ID(102) TYPE(HEXA) /** TREF-SB31
TRSB : -999 : -1020
OGAP : 1 : 1020 -1120
TRSB1 : -350 : 1120
#END CELL
#SUBFRAME
NAMES( HOLE OTHERS )
SPACE( 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 )
#END SUBFRAME
#CELL ID(111) TYPE(HEXA) /** TREF-C-CB
CST-C : -999 : -2020
OGAP : 1 : 2020 -2120
CST-C : -650 : 2120
#END CELL
#SUBFRAME
NAMES( HOLE OTHERS CR )
SPACE( 2 2 2 0 2 1 3 2 0 2 3 2 0 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#CELL ID(112) TYPE(HEXA) /** TREF-R1-CB
CSTR1 : -999 : -2020
OGAP : 1 : 2020 -2120
CSTR1 : -660 : 2120
#END CELL
#SUBFRAME
NAMES( HOLE OTHERS CR )
SPACE( 2 2 2 0 2 1 3 2 0 2 3 2 0 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#CELL ID(113) TYPE(HEXA) /** TREF-R2-CB
CSTR2 : -999 : -2020
OGAP : 1 : 2020 -2120
CSTR2 : -670 : 2120
#END CELL
#SUBFRAME
NAMES( HOLE OTHERS CR )
SPACE( 2 2 2 0 2 1 3 2 0 2 3 2 0 0 2 2 )
#END SUBFRAME
#CELL ID(114) TYPE(HEXA) /** TREF-R3-CB
CSTR3 : -999 : -2020
OGAP : 1 : 2020 -2120
CSTR3 : -680 : 2120
* CSTR3 : CROUT4 : -410 : 2120
#END CELL
#SUBFRAME
NAMES( HOLE OTHERS CR )

```



```

BLKG22 BLKG22 100 102 -3102
BLKG23 BLKG23 100 103 -3103
BLKG24 BLKG24 100 104 -3104
BLKG25 BLKG25 100 105 -3105
CHOL21 CHOL21 3101 -4031
CHOL22 CHOL22 3102 -4032
CHOL23 CHOL23 3103 -4033
CHOL24 CHOL24 3104 -4034
CHOL25 CHOL25 3105 -4035
SLV21 SLV21 4031 -5011
SLV22 SLV22 4032 -5012
SLV23 SLV23 4033 -5013
SLV24 SLV24 4034 -5014
SLV25 SLV25 4035 -5015
FUEL1 FUEL1 17 4021 -4011
FUEL2 FUEL2 17 4022 -4012
FUEL3 FUEL3 20 4023 -4013
FUEL4 FUEL4 22 4024 -4014
FUEL5 FUEL5 25 4025 -4015
CV01D1 CV01D1 1 4011
CV01D2 CV01D2 1 4012
CV01D3 CV01D3 1 4013
CV01D4 CV01D4 1 4014
CV01D5 CV01D5 1 4015
#END CELL
#CELL ID (251) TYPE (HEXA) /** FUEL ROD3
BLKG21 BLKG21 100 101 -3101
BLKG22 BLKG22 100 102 -3102
BLKG23 BLKG23 100 103 -3103
BLKG24 BLKG24 100 104 -3104
BLKG25 BLKG25 100 105 -3105
CHOL31 CHOL31 3101 -4031
CHOL32 CHOL32 3102 -4032
CHOL33 CHOL33 3103 -4033
CHOL34 CHOL34 3104 -4034
CHOL35 CHOL35 3105 -4035
SLV31 SLV31 4031 -5011
SLV32 SLV32 4032 -5012
SLV33 SLV33 4033 -5013
SLV34 SLV34 4034 -5014
SLV35 SLV35 4035 -5015
FUEL1 FUEL1 8 4021 -4011
FUEL2 FUEL2 18 4022 -4012
FUEL3 FUEL3 20 4023 -4013
FUEL4 FUEL4 24 4024 -4014
FUEL5 FUEL5 26 4025 -4015
CV01D1 CV01D1 1 4011
CV01D2 CV01D2 1 4012
CV01D3 CV01D3 1 4013
CV01D4 CV01D4 1 4014
CV01D5 CV01D5 1 4015
#END CELL
#CELL ID (261) TYPE (HEXA) /** FUEL ROD
BLKG41 BLKG41 100 101 -3101
BLKG42 BLKG42 100 102 -3102
BLKG43 BLKG43 100 103 -3103
BLKG44 BLKG44 100 104 -3104
BLKG45 BLKG45 100 105 -3105
CHOL41 CHOL41 3101 -4031
CHOL42 CHOL42 3102 -4032
CHOL43 CHOL43 3103 -4033
CHOL44 CHOL44 3104 -4034
CHOL45 CHOL45 3105 -4035
SLV41 SLV41 4031 -5011
SLV42 SLV42 4032 -5012
SLV43 SLV43 4033 -5013
SLV44 SLV44 4034 -5014
SLV45 SLV45 4035 -5015
FUEL1 FUEL1 9 4021 -4011
FUEL2 FUEL2 19 4022 -4012
FUEL3 FUEL3 22 4023 -4013
FUEL4 FUEL4 25 4024 -4014
FUEL5 FUEL5 27 4025 -4015
CV01D1 CV01D1 1 4011
CV01D2 CV01D2 1 4012
CV01D3 CV01D3 1 4013
CV01D4 CV01D4 1 4014
CV01D5 CV01D5 1 4015
#END CELL
CV01D2 CV01D2 1 4012
CV01D3 CV01D3 1 4013
CV01D4 CV01D4 1 4014
CV01D5 CV01D5 1 4015
#END CELL
#CELL ID (202) TYPE (HEXA) /** BP ROD-REG1
BPGL1 BPGL1 -999 -100 101 -5011
BPGL2 BPGL2 2 100 102 -5012
BPGL3 BPGL3 2 100 103 -5013
BPGL4 BPGL4 2 100 104 -5014
BPGL5 BPGL5 2 100 105 -5015
BP1N1 BP1N1 7 5011 -5511
BP1N2 BP1N2 7 5012 -5512
BP1N3 BP1N3 6 5013 -5513
BP1N4 BP1N4 6 5014 -5514
BP1N5 BP1N5 7 5015 -5515
GD1 GD1 2 5511
GD2 GD2 2 5512
GD3 GD3 2 5513
GD4 GD4 2 5514
GD5 GD5 2 5515
#END CELL
#CELL ID (203) TYPE (HEXA) /** BP HOLE-REG1
BPGL1 BPGL1 -999 -100 101 -5011
BPGL2 BPGL2 2 100 102 -5012
BPGL3 BPGL3 2 100 103 -5013
BPGL4 BPGL4 2 100 104 -5014
BPGL5 BPGL5 2 100 105 -5015
BP2N1 BP2N1 1 5011
BP2N2 BP2N2 1 5012
BP2N3 BP2N3 1 5013
BP2N4 BP2N4 1 5014
BP2N5 BP2N5 1 5015
#END CELL
#CELL ID (204) TYPE (HEXA) /** HANDLING HOLE-REG1
BLKG1 BLKG1 -999 -100 101
BLKG2 BLKG2 4 100 102
BLKG3 BLKG3 4 100 103
BLKG4 BLKG4 4 100 104
BLKG5 BLKG5 4 100 105
#END CELL
#CELL ID (205) TYPE (HEXA) /** BLOCK GRAPHITE-REG1
BLKG1 BLKG1 -999 -100 101
BLKG2 BLKG2 2 100 102
BLKG3 BLKG3 2 100 103
BLKG4 BLKG4 2 100 104
BLKG5 BLKG5 2 100 105
#END CELL
#CELL ID (212) TYPE (HEXA) /** BP ROD-REG2
BPGL1 BPGL1 -999 -100 101 -5011
BPGL2 BPGL2 2 100 102 -5012
BPGL3 BPGL3 2 100 103 -5013
BPGL4 BPGL4 2 100 104 -5014
BPGL5 BPGL5 2 100 105 -5015
BP1N1 BP1N1 7 5011 -5511
BP1N2 BP1N2 7 5012 -5512
BP1N3 BP1N3 6 5013 -5513
BP1N4 BP1N4 6 5014 -5514
BP1N5 BP1N5 7 5015 -5515
GD1 GD1 2 5511
GD2 GD2 2 5512
GD3 GD3 2 5513
GD4 GD4 2 5514
GD5 GD5 2 5515
#END CELL
#CELL ID (213) TYPE (HEXA) /** BP HOLE-REG2
BPGL1 BPGL1 -999 -100 101 -5011
BPGL2 BPGL2 2 100 102 -5012

```

```

BPGL3  BPGL3  2  100 103 -5013
BPGL4  BPGL4  2  100 104 -5014
BPGL5  BPGL5  2  100 105 -5015
BP1    BPIN1  1  5011
BP2    BPIN2  1  5012
BP3    BPIN3  1  5013
BP4    BPIN4  1  5014
BP5    BPIN5  1  5015
#END CELL
#CELL_ID(214) TYPE (HEXA) /** HANDLING HOLE-REG2
GCEL2  GCEL2  4  100
BLKG1  BLKG1  4  101
BLKG2  BLKG2  4  102
BLKG3  BLKG3  4  103
BLKG4  BLKG4  4  104
BLKG5  BLKG5  4  105
#END CELL
#CELL_ID(215) TYPE (HEXA) /** BLOCK GRAPHITE-REG2
GCEL2  GCEL2  2  100 101
BLKG1  BLKG1  2  100 102
BLKG2  BLKG2  2  100 103
BLKG3  BLKG3  2  100 104
BLKG4  BLKG4  2  100 105
#END CELL
#CELL_ID(252) TYPE (HEXA) /** BP ROD-REG3
BPGL3  BPGL3  2  100 101 -5011
BPGL2  BPGL2  2  100 102 -5012
BPGL1  BPGL1  2  100 103 -5013
BPGL4  BPGL4  2  100 104 -5014
BPGL5  BPGL5  2  100 105 -5015
BP1    BPIN1  7  5011 -5511
BP2    BPIN2  7  5012 -5512
BP3    BPIN3  8  5013 -5513
BP4    BPIN4  9  5014 -5514
BP5    BPIN5  7  5015 -5515
GD1    GD      2  5511
GD2    GD      2  5512
GD3    GD      2  5513
GD4    GD      2  5514
GD5    GD      2  5515
#END CELL
#CELL_ID(253) TYPE (HEXA) /** BP HOLE-REG3
BPGL3  BPGL3  2  100 101 -5011
BPGL2  BPGL2  2  100 102 -5012
BPGL1  BPGL1  2  100 103 -5013
BPGL4  BPGL4  2  100 104 -5014
BPGL5  BPGL5  2  100 105 -5015
BP1    BPIN1  1  5011
BP2    BPIN2  1  5012
BP3    BPIN3  1  5013
BP4    BPIN4  1  5014
BP5    BPIN5  1  5015
#END CELL
#CELL_ID(254) TYPE (HEXA) /** HANDLING HOLE-REG3
GCEL3  GCEL3  4  100 101
BLKG1  BLKG1  4  100 102
BLKG2  BLKG2  4  100 103
BLKG3  BLKG3  4  100 104
BLKG4  BLKG4  4  100 105
BLKG5  BLKG5  4  100 105
#END CELL
#CELL_ID(255) TYPE (HEXA) /** BLOCK GRAPHITE-REG3
GCEL3  GCEL3  2  100 101
BLKG1  BLKG1  2  100 102
BLKG2  BLKG2  2  100 103
BLKG3  BLKG3  2  100 104
BLKG4  BLKG4  2  100 105
#END CELL
#CELL_ID(262) TYPE (HEXA) /** BP ROD-REG4
BPGL4  BPGL4  2  100 104 -5014
BPGL3  BPGL3  2  100 103 -5013
BPGL2  BPGL2  2  100 102 -5012
BPGL1  BPGL1  2  100 101 -5011
BP1    BPIN1  7  5011 -5511
BP2    BPIN2  7  5012 -5512
BP3    BPIN3  8  5013 -5513
BP4    BPIN4  8  5014 -5514
BP5    BPIN5  7  5015 -5515
GD1    GD      2  5511
GD2    GD      2  5512
GD3    GD      2  5513
GD4    GD      2  5514
GD5    GD      2  5515
#END CELL
#CELL_ID(263) TYPE (HEXA) /** BP HOLE-REG4
BPGL4  BPGL4  2  100 101 -5011
BPGL3  BPGL3  2  100 102 -5012
BPGL2  BPGL2  2  100 103 -5013
BPGL1  BPGL1  2  100 104 -5014
BPGL5  BPGL5  2  100 105 -5015
BP1    BPIN1  7  5011 -5511
BP2    BPIN2  7  5012 -5512
BP3    BPIN3  8  5013 -5513
BP4    BPIN4  8  5014 -5514
BP5    BPIN5  7  5015 -5515
GD1    GD      2  5511
GD2    GD      2  5512
GD3    GD      2  5513
GD4    GD      2  5514
GD5    GD      2  5515
#END CELL
#CELL_ID(264) TYPE (HEXA) /** HANDLING HOLE-REG4
BPGL4  BPGL4  4  100 101
BLKG1  BLKG1  4  100 102
BLKG2  BLKG2  4  100 103
BLKG3  BLKG3  4  100 104
BLKG4  BLKG4  4  100 105
BLKG5  BLKG5  4  100 105
#END CELL
#CELL_ID(265) TYPE (HEXA) /** BLOCK GRAPHITE-REG4
GCEL4  GCEL4  2  100 101
BLKG1  BLKG1  2  100 102
BLKG2  BLKG2  2  100 103
BLKG3  BLKG3  2  100 104
BLKG4  BLKG4  2  100 105
BLKG5  BLKG5  2  100 105
#END CELL
#CELL_ID(301) TYPE (HEXA) /** TREF F-HOLE
TRGL1  TRGL1  2  120 -3120
TRFH1  TRFH1  1  3120
#END CELL
#CELL_ID(302) TYPE (HEXA) /** TREF HD-HOLE
TRHD1  TRHD1  4  120
#END CELL
#CELL_ID(303) TYPE (HEXA) /** TREF BLOCK-G
TRGL1  TRGL1  2  120
TRBG1  TRBG1  2  120
#END CELL
#CELL_ID(311) TYPE (HEXA) /** BREF F-HOLE
BRGL1  BRGL1  2  110 -3110
BRFH1  BRFH1  1  3110
BRPH1  BRPH1  1  3110
#END CELL
#CELL_ID(312) TYPE (HEXA) /** BREF HD-HOLE
BRGL1  BRGL1  4  110
BRHD1  BRHD1  4  110
#END CELL
#CELL_ID(313) TYPE (HEXA) /** BREF BLOCK-G
BRGL1  BRGL1  2  110
BRBG1  BRBG1  2  110
BRBG2  BRBG2  2  110
BRBG3  BRBG3  2  110
#END CELL
#CELL_ID(314) TYPE (HEXA) /** BREF F-HOLE
BRGL1  BRGL1  2  110 -3110
BRFH1  BRFH1  1  3110

```



```

#CELL ID (631) TYPE (HEXA) /** DUMMY BLOCK CR-HOLE
DSBG3 : -999 : 3 : 3044
SBG1 : -504 : 3044
CBH3 : 1 : 3044
#END CELL
#CELL ID (633) TYPE (HEXA) /** DUMMY BLOCK RSS-HOLE
DSBG3 : -999 : 3 : 3044
SBG1 : -504 : 3044
CBH3 : 1 : 3044
#END CELL
#CELL ID (634) TYPE (HEXA) /** DUMMY BLOCK-PL3 CR-BLOCK-G
DSBG3 : -999 : 3 : 504
DSBG3 : DSBG3 : 3 : 504
#END CELL

#CELL ID (701) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK HOLE-41mm
DSBG1 : -999 : 501 : 7011
SBG1 : -501 : 7011
CBH1 : 1 : 7011
#END CELL
#CELL ID (704) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK BLOCK-G
DSBG1 : -999 : 501 : 7011
SBG1 : -501 : 7011
CBH1 : 1 : 7011
#END CELL
#CELL ID (711) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK HOLE-41mm
DSBG1 : -999 : 501 : 7012
SBG1 : -502 : 7012
CBH1 : 1 : 7012
#END CELL
#CELL ID (714) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK BLOCK-G
DSBG1 : -999 : 502 : 7012
SBG1 : -502 : 7012
CBH1 : 1 : 7012
#END CELL
#CELL ID (721) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK HOLE-41mm
DSBG1 : -999 : 503 : 7013
SBG1 : -503 : 7013
CBH1 : 1 : 7013
#END CELL
#CELL ID (724) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK BLOCK-G
DSBG1 : -999 : 503 : 7013
SBG1 : -503 : 7013
CBH1 : 1 : 7013
#END CELL
#CELL ID (731) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK HOLE-41mm
DSBG1 : -999 : 504 : 7014
SBG1 : -504 : 7014
CBH1 : 1 : 7014
#END CELL
#CELL ID (734) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK BLOCK-G
DSBG1 : -999 : 504 : 7014
SBG1 : -504 : 7014
CBH1 : 1 : 7014
#END CELL
#CELL ID (741) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK HOLE-41mm
DSBG4 : -999 : 505 : 7015
SBG4 : -505 : 7015
CBH4 : 1 : 7015
#END CELL
#CELL ID (744) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK BLOCK-G
DSBG4 : -999 : 505 : 7015
SBG4 : -505 : 7015
CBH4 : 1 : 7015
#END CELL
#CELL ID (751) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK HOLE-60mm
DSBG5 : -999 : 501 : 7021
SBG5 : -501 : 7021
CBH5 : 1 : 7021
#END CELL
#CELL ID (754) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK BLOCK-G
DSBG5 : -999 : 501 : 7021
SBG5 : -501 : 7021
CBH5 : 1 : 7021
#END CELL
#CELL ID (761) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK HOLE-60mm
DSBG6 : -999 : 502 : 7022
SBG6 : -502 : 7022
CBH6 : 1 : 7022
#END CELL
#CELL ID (764) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK BLOCK-G
DSBG6 : -999 : 502 : 7022
SBG6 : -502 : 7022
CBH6 : 1 : 7022
#END CELL

DSBG6 : DSBG6 : 3 : 502
#END CELL
#CELL ID (771) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK HOLE-60mm
DSBG7 : -999 : 503 : 7023
SBG7 : -503 : 7023
CBH7 : 1 : 7023
#END CELL
#CELL ID (774) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK BLOCK-G
DSBG7 : -999 : 503 : 7023
SBG7 : -503 : 7023
CBH7 : 1 : 7023
#END CELL
#CELL ID (781) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK HOLE-60mm
DSBG8 : -999 : 504 : 7024
SBG8 : -504 : 7024
CBH8 : 1 : 7024
#END CELL
#CELL ID (784) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK BLOCK-G
DSBG8 : -999 : 504 : 7024
SBG8 : -504 : 7024
CBH8 : 1 : 7024
#END CELL
#CELL ID (791) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK HOLE-60mm
DSBG9 : -999 : 505 : 7025
SBG9 : -505 : 7025
CBH9 : 1 : 7025
#END CELL
#CELL ID (794) TYPE (HEXA) /** DUMMY FUEL BLOCK BLOCK-G
DSBG9 : -999 : 505 : 7025
SBG9 : -505 : 7025
CBH9 : 1 : 7025
#END CELL

#TALLY REGION
#DEFINE @HOLE (*!*!*!*!*!*!*!)
@BF3N17 {CORE:N17|RD17:BF3|BF3}
@BF3N18 {CORE:N18|RD18:BF3|BF3}
@BF3N19 {CORE:N19|RD19:BF3|BF3}
@FCN17 {CORE:N17|RD17:BF3|FC}
@FCN18 {CORE:N18|RD18:BF3|FC}
@FCN19 {CORE:N19|RD19:BF3|FC}
@C1N17 {CORE:N17|RD17:C1C1C1C}
@C1N18 {CORE:N18|RD18:C1C1C1C}
@C1N19 {CORE:N19|RD19:NSINS}

SEND GEOMETRY
***** INITIAL SOURCE *****
NSOUR(4) KSOUR(3 3 3)
IFISM(U05003J3 U05003J3 U05003J3)
SOUR(1 0 1 0 1 0 1 0)
PSPAC(
<-PS*5> <PS*5> <P2S*4> <HB2> <HCL-HB*2> 4(0 0)
<-PS*5> <PS*5> <P2S*4> <HCL+HB*2> <HCL-HB*3> 4(0 0)
<-PS*5> <PS*5> <P2S*4> <P2S*4> <HCL+HB*3> <HCL-HB*4> 4(0 0)
<-PS*5> <PS*5> <P2S*4> <P2S*4> <HCL+HB*4> <HCL-HB*6> 4(0 0)
)
WKIL (<NREG> (<NNGROUP> (0.001) ))
WSRV (<NREG> (<NNGROUP> (0.02) ))
NRESP(1) RESP (0.0 0.0 0.0 0.186 0.373 1.0)

***** FISSION SPECTRUM & WEIGHT FOR FISSION NEUTRONS *****
* FKA1 (15(6(0 0)) 12 (0.96723 0.032769 4(0 0)) 6(0 0) )
* WGTF (<NREG> (1.0) )
ENGBY(
1.000E+7 1.830E+5 9.610E+2 2.380E+0
0.650 0.1050 1.000E-5 )
RVOL (<NREG> (1.0) )
TRVOL (<NTRG> (1.0) )
***** PICTURE DATA *****
/
TITLE { HTRR : GOLD-CLEAN HE-1ATM CR-1.75 (30-COL. HORIZONTAL) }
PAPER { -165 -150 280 1 0 0 1 0 10 }
XMAX { 330 300 }
TITLE { HTRR : GOLD-CLEAN HE-1ATM (HORIZONTAL N-17) }
PAPER { -100 -150 370 1 0 0 1 0 } *N-17
XMAX { 100 100 }
TITLE { HTRR : GOLD-CLEAN HE-1ATM (VERTICAL N-17) }

```


This is a blank page.

国際単位系 (SI) と換算表

表1 SI基本単位および補助単位

量	名称	記号
長さ	メートル	m
質量	キログラム	kg
時間	秒	s
電流	アンペア	A
熱力学温度	ケルビン	K
物質質量	モル	mol
光度	カンデラ	cd
平面角	ラジアン	rad
立体角	ステラジアン	sr

表3 固有の名称をもつSI組立単位

量	名称	記号	他のSI単位による表現
周波数	ヘルツ	Hz	s ⁻¹
力	ニュートン	N	m·kg/s ²
圧力, 応力	パスカル	Pa	N/m ²
エネルギー, 仕事, 熱量	ジュール	J	N·m
工率, 放射束	ワット	W	J/s
電気量, 電荷	クーロン	C	A·s
電位, 電圧, 起電力	ボルト	V	W/A
静電容量	ファラド	F	C/V
電気抵抗	オーム	Ω	V/A
コンダクタンス	ジーメンズ	S	A/V
磁束密度	ウェーバ	Wb	V·s
磁束	テスラ	T	Wb/m ²
インダクタンス	ヘンリー	H	Wb/A
セルシウス温度	セルシウス度	°C	
光束度	ルーメン	lm	cd·sr
照射度	ルクス	lx	lm/m ²
放射線量	ベクレル	Bq	s ⁻¹
吸収線量	グレイ	Gy	J/kg
線量当量	シーベルト	Sv	J/kg

表2 SIと併用される単位

名称	記号
分, 時, 日	min, h, d
度, 分, 秒	°, ', "
リットル	l, L
トン	t
電子ボルト	eV
原子質量単位	u

1 eV = 1.60218 × 10⁻¹⁹ J
1 u = 1.66054 × 10⁻²⁷ kg

表4 SIと共に暫定的に維持される単位

名称	記号
オングストローム	Å
バ	b
バル	bar
ガリ	Gal
キュリー	Ci
レントゲン	R
ラド	rad
レム	rem

1 Å = 0.1 nm = 10⁻¹⁰ m
1 b = 100 fm = 10⁻²⁸ m²
1 bar = 0.1 MPa = 10⁵ Pa
1 Gal = 1 cm/s² = 10⁻² m/s²
1 Ci = 3.7 × 10¹⁰ Bq
1 R = 2.58 × 10⁻⁴ C/kg
1 rad = 1 cGy = 10⁻² Gy
1 rem = 1 cSv = 10⁻² Sv

表5 SI接頭語

倍数	接頭語	記号
10 ¹⁸	エクサ	E
10 ¹⁵	ペタ	P
10 ¹²	テラ	T
10 ⁹	ギガ	G
10 ⁶	メガ	M
10 ³	キロ	k
10 ²	ヘクト	h
10 ¹	デカ	da
10 ⁻¹	デシ	d
10 ⁻²	センチ	c
10 ⁻³	ミリ	m
10 ⁻⁶	マイクロ	μ
10 ⁻⁹	ナノ	n
10 ⁻¹²	ピコ	p
10 ⁻¹⁵	フェムト	f
10 ⁻¹⁸	アト	a

(注)

- 表1-5は「国際単位系」第5版、国際度量衡局 1985年刊行による。ただし、1 eV および 1 uの値は CODATA の1986年推奨値によった。
- 表4には海里、ノット、アール、ヘクトールも含まれているが日常の単位なのでここでは省略した。
- barは、JISでは流体の圧力を表わす場合に限り表2のカテゴリーに分類されている。
- EC閣僚理事会指令では bar, barn および「血圧の単位」mmHgを表2のカテゴリーに入れている。

換算表

力	N (=10 ⁵ dyn)	kgf	lbf
	1	0.101972	0.224809
	9.80665	1	2.20462
	4.44822	0.453592	1

粘度 1 Pa·s (N·s/m²) = 10 P (ポアズ) (g/(cm·s))
動粘度 1 m²/s = 10⁴ St (ストークス) (cm²/s)

圧	MPa (=10 bar)	kgf/cm ²	atm	mmHg (Torr)	lbf/in ² (psi)
	1	10.1972	9.86923	7.50062 × 10 ³	145.038
力	0.0980665	1	0.967841	735.559	14.2233
	0.101325	1.03323	1	760	14.6959
	1.33322 × 10 ⁻⁴	1.35951 × 10 ⁻³	1.31579 × 10 ⁻³	1	1.93368 × 10 ⁻²
	6.89476 × 10 ⁻³	7.03070 × 10 ⁻²	6.80460 × 10 ⁻²	51.7149	1

エネルギー・仕事・熱量	J (=10 ⁷ erg)	kgf·m	kW·h	cal (計量法)	Btu	ft·lbf	eV
	1	0.101972	2.77778 × 10 ⁻⁷	0.238889	9.47813 × 10 ⁻⁴	0.737562	6.24150 × 10 ¹⁸
	9.80665	1	2.72407 × 10 ⁻⁶	2.34270	9.29487 × 10 ⁻³	7.23301	6.12082 × 10 ¹⁹
	3.6 × 10 ⁶	3.67098 × 10 ⁵	1	8.59999 × 10 ⁵	3412.13	2.65522 × 10 ⁶	2.24694 × 10 ²⁵
	4.18605	0.426858	1.16279 × 10 ⁻⁶	1	3.96759 × 10 ⁻³	3.08747	2.61272 × 10 ¹⁹
	1055.06	107.586	2.93072 × 10 ⁻⁴	252.042	1	778.172	6.58515 × 10 ²¹
	1.35582	0.138255	3.76616 × 10 ⁻⁷	0.323890	1.28506 × 10 ⁻³	1	8.46233 × 10 ¹⁸
	1.60218 × 10 ⁻¹⁹	1.63377 × 10 ⁻²⁰	4.45050 × 10 ⁻²⁶	3.82743 × 10 ⁻²⁰	1.51857 × 10 ⁻²²	1.18171 × 10 ⁻¹⁹	1

1 cal = 4.18605 J (計量法)
= 4.184 J (熱化学)
= 4.1855 J (15 °C)
= 4.1868 J (国際蒸気表)
仕事率 1 PS (仏馬力)
= 75 kgf·m/s
= 735.499 W

放射能	Bq	Ci
	1	2.70270 × 10 ⁻¹¹
	3.7 × 10 ¹⁰	1

吸収線量	Gy	rad
	1	100
	0.01	1

照射線量	C/kg	R
	1	3876
	2.58 × 10 ⁻⁴	1

線量当量	Sv	rem
	1	100
	0.01	1

高温工学試験研究炉(H T T R)臨界試験の予備解析結果
―モンテカルロコードM V Pに基づく解析―